

令和3年度



# 教育計画

河内長野市立  
美加の台中学校

【みかのだいちゅうがっこう】 MIKANODAI JUNIOR HIGH SCHOOL

# 目次

## 1.はじめに

- 1.1.学校経営方針
- 1.2.学校運営組織
- 1.3.校舎平面図
- 1.4.所在地沿革
- 1.5.個人情報管理規則

## 2.研究部

- 2.1.研究部
- 2.2.時間割・時間帯・職員数・生徒数
- 2.3.年間行事計画

## 3.特活指導部

- 3.1.特活指導部・年間計画

## 4.生徒指導部

- 4.1.本校の生徒指導上の課題と取り組み
- 4.2.生徒指導部 年間計画
- 4.3.いじめ防止基本方針
- 4.4.不審者等の対応
- 4.5.支援教育

## 5.学校保健部

- 5.1.学校保健部
- 5.2.学校保健委員会規約
- 5.3.気象警報発令時ならびに大規模地震発生時の対応について
- 5.4.避難経路図

## 6.その他指導部など

- 6.1.小中一貫推進部
- 6.2.学年指導部・庶務部・各委員会

## 7.学習のしおり

- |                  |           |               |
|------------------|-----------|---------------|
| 7.0.通知表の成績などについて | 7.5.音楽    | 7.10.道徳       |
| 7.1.国語           | 7.6.美術    | 7.11.総合       |
| 7.2.社会           | 7.7.保健体育  | 7.12.特別活動     |
| 7.3.数学           | 7.8.技術・家庭 | 7.12.1.人権教育   |
| 7.4.理科           | 7.9.英語    | 7.12.2.キャリア教育 |

## 8.別添資料

# 令和3年度 美加の台中学校 学校経営方針

## 学校教育目標

和(輪)=つながる <つどえ・きたえ・のびよ>

学校は「みんながつどうところ(つどえ)」

「体、心、頭を鍛えるところ(きたえ)」

「一人ひとりの良さや能力を伸ばすところ(のびよ)」

・本校の校章は、新しい活気に満ちた美加の台を吹き抜ける爽やかな「風」と、1・2・3年生からなる、本校の生徒の調和と支え合う心をイメージして考案されたものです。

(考案者:辻 末子さん)



## 中学校区で共通に目指す子ども像 『心豊かに たくましく きらり輝く 美加の台』

### 目指す学校像

- ①笑顔があふれる学校
- ②安心できる学校
- ③豊かな教育活動ができる学校

### 目指す生徒像

#### 知・徳・体のバランス

- ①進んで学び、考える生徒  
『知 : 課題解決力』
- ②広く思いやる生徒  
『徳 : 共生力』
- ③自ら鍛える生徒  
『体 : チャレンジ力』

### 学校づくりの指標

#### スローガン「つながる美加の台」

みんな(生徒・保護者・地域・教職員)が輝き、感動を味わえる学校

#### 【5つの学校経営の重点】

- ①一人ひとりの学力向上  
『進んで学び、考える生徒』
- ②よりよい人間関係の構築  
『自分を大切に、他者を思いやる生徒』
- ③健やかでたくましい体づくり  
『自ら鍛える生徒』
- ④信頼される学校にする  
『保護者・地域にとって頼りがいのある学校』
- ⑤コミュニケーション能力の向上  
『自分の思いを自分の言葉で伝えることができる生徒』

## 今年度の重点課題

### 義務教育学校の実現に向けて

義務教育学校として、9年間を通じた教育課程による系統的な教育を行うことを目指して、15歳の春に責任を担う学校体制づくりを進めていく。

- 子どもたちにとってより良い教育について考察する
- 義務教育学校化によるメリット、デメリットについて考察する
- 地域の特性を活かした特色ある学校づくりについて考察する

※小中一貫推進会議を毎月開催し、そこで議論を深め、年度途中からでもやっていたいものは試験的に実施していく。

<具体例>

- ①先進校に学ぶ  
・先進校視察を行う。  
・先進校より講師先生を招き、小中合同研修会を実施する。
- ②美加の台学園祭の改善  
・小中の教員が気持ちを一つにして、地域の人の協力を得ながら学園祭を開催できるように取り組む。そのためにも学園祭の意義について十分検討する。
- ③小中合同で授業改善に取り組む  
・「指導と評価の一体化」を授業改善の共通テーマとして、合同で研修していく。

#### ④いきいき授業の拡大

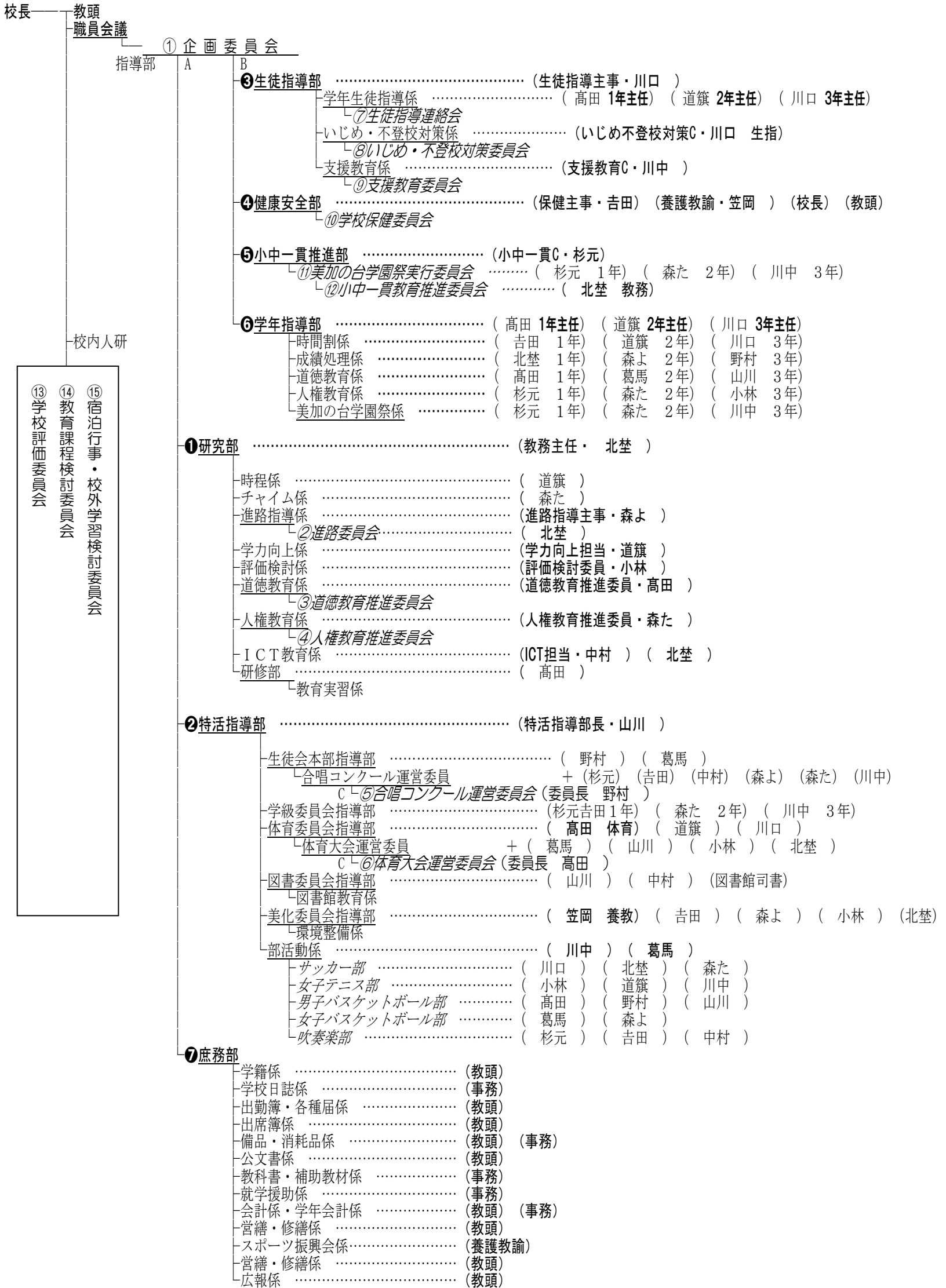
・小学校の先生が中学校で道徳の授業を行い、中学校の先生が小学校で授業を行うことが可能か検討する。年度途中でも、できるものは実施していく。

- ⑤担当ごとにチームを組んで検討していく  
・「教育計画をそろえる」「校務分掌をそろえる」「校則をそろえる」を小中それぞれの代表者で検討する。

#### ⑥その他

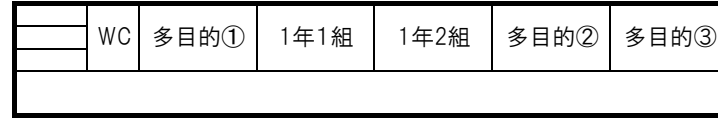
・学校運営協議会機能を中学校区に広げる。  
・PTA組織の再編について、小中のPTA組織が合同で研修していく。  
・備品や教材・教具の共有化について検討する。

# 令和3年度 学校運営組織



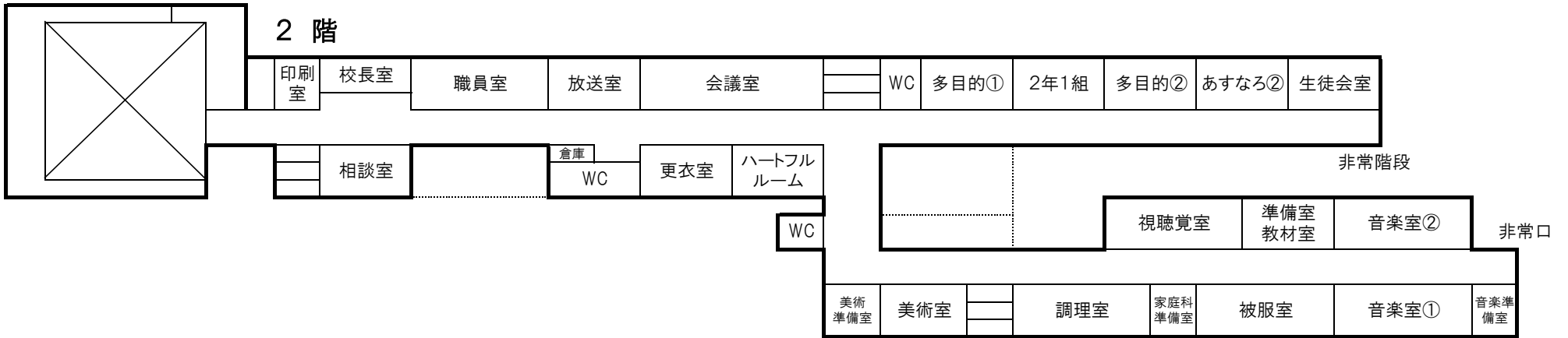
# 校舎平面図

## 3 階

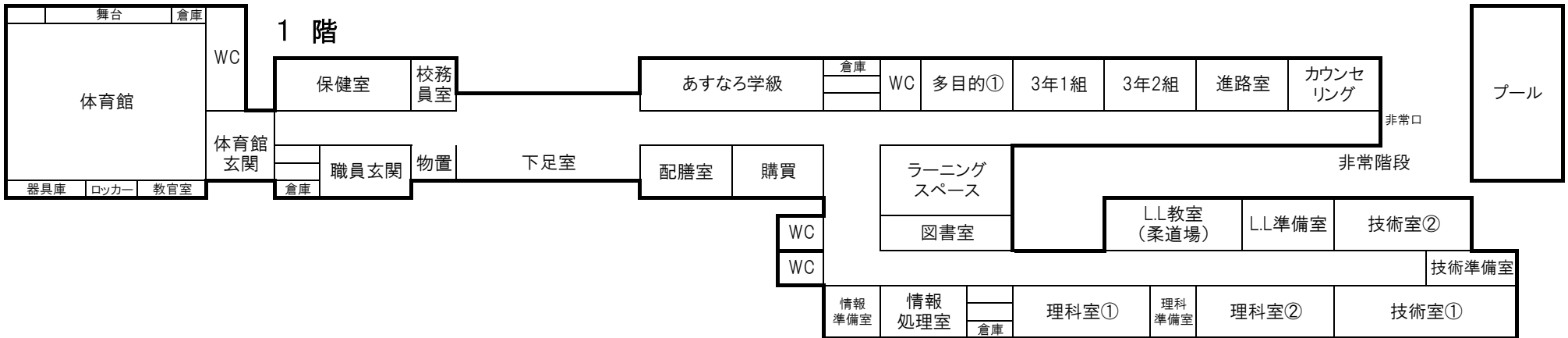


非常階段

## 2 階



## 1 階



## 所在地・沿革

### 学校名・所在地

学校名	大阪府河内長野市立美加の台中学校
所在地	大阪府河内長野市美加の台7丁目2番1号
電話	0721-63-7878
FAX	0721-63-7879

### 美加の台中学校の沿革

平成

3年(1991)	河内長野市立加賀田中学校から分離開校		
	(1年4学級 2年3学級 3年3学級)	325人	
4年(1992)	(1年3学級 2年4学級 3年3学級)	328人	
5年(1993)	(1年3学級 2年3学級 3年4学級)	335人	
6年(1994)	(1年3学級 2年4学級 3年3学級)	315人	
7年(1995)	(1年4学級 2年3学級 3年4学級)	372人	
8年(1996)	(1年4学級 2年4学級 3年3学級)	404人	
9年(1997)	(1年4学級 2年4学級 3年4学級)	448人	
10年(1998)	(1年4学級 2年4学級 3年4学級)	460人	
11年(1999)	(1年4学級 2年4学級 3年4学級)	456人	
12年(2000)	(1年4学級 2年4学級 3年4学級)	434人	
13年(2001)	(1年4学級 2年4学級 3年4学級)	398人	
14年(2002)	(1年3学級 2年4学級 3年4学級)	382人	
15年(2003)	(1年3学級 2年4学級 3年4学級)	360人	
16年(2004)	(1年3学級 2年3学級 3年4学級)	344人	
17年(2005)	(1年2学級 2年3学級 3年3学級)	295人	
18年(2006)	(1年3学級 2年2学級 3年3学級)	283人	
19年(2007)	(1年3学級 2年3学級 3年2学級)	262人	
20年(2008)	(1年2学級 2年3学級 3年3学級)	259人	
21年(2009)	(1年2学級 2年2学級 3年3学級)	244人	
22年(2010)	(1年2学級 2年2学級 3年2学級)	229人	
23年(2011)	(1年2学級 2年2学級 3年2学級)	223人	
24年(2012)	(1年2学級 2年2学級 3年2学級)	207人	
25年(2013)	(1年2学級 2年2学級 3年2学級)	180人	
26年(2014)	(1年2学級 2年2学級 3年2学級)	173人	
27年(2015)	(1年2学級 2年2学級 3年2学級)	169人	
28年(2016)	(1年2学級 2年2学級 3年2学級)	168人	
29年(2017)	(1年1学級 2年2学級 3年2学級)	151人	
30年(2018)	(1年1学級 2年1学級 3年2学級)	134人	

令和

元年(2019)	(1年2学級 2年1学級 3年1学級)	132人	
2年(2020)	(1年1学級 2年2学級 3年2学級)	133人	
3年(2021)	(1年2学級 2年1学級 3年2学級)	150人	

# 個人情報管理運営について

## 河内長野市立美加の台中学校における個人情報管理運営に関する内規

### 1.目的

この規定は、河内長野市個人情報保護条例・河内長野市教育委員会通知等に基づき、美加の台中学校における個人情報の管理運営について必要な事項を定め、生徒の個人情報を保護することを目的とする。

### 2.定義

- 1 個人情報とは、学校が生徒に関して職務上作成し保管する情報で、個人を識別できるものをいう。
- 2 電子記憶媒体とは、一定の磁気記録方式によって記録する記憶媒体をいう。(USB等の記憶媒体)
- 3 公簿類とは、法令で定められた学校における記録簿等。

### 3.個人情報の処理

学校が処理することができる個人情報は、学校教育指導事務および学校納付金事務にかかわっての電子記憶媒体・公簿書類の作成をいう。

### 4.任務

校長および職員は、この内規に基づき、学校における個人情報の処理について、適正に管理運営しなければならない。

### 5.管理責任者の職務

- 1 管理責任者は校長をもって充てる。
- 2 管理責任者は、個人情報の漏洩等の事故を防止するために、職員に対し適正な指導をおこなわなければならない。

### 6.取扱責任者の職務

- 1 取扱責任者は教頭をもって充てる。
- 2 取扱責任者は、個人情報の記録された電子記憶媒体および公簿類を管理する。
- 3 取扱責任者は、管理責任者の求めに応じ、個人情報の処理状況について報告しなければならない。

### 7.個人情報の管理

- 1 個人情報の記録について私用パソコンのハードディスクには保存しない。
- 2 校内におけるインターネット接続パソコンも同様とする。
- 3 個人情報に関する内容については、校務用サーバーで保存する。
- 4 不要となった個人情報の記録は、使用者と取扱責任者が確認のうえ、速やかに抹消しなければならない。
- 5 卒業または転出した生徒に関する個人情報の記録は、使用者と取扱責任者が速やかに電子記憶媒体から抹消し、管理責任者が確認しなければならない。
- 6 個人情報が記録されている電子記憶媒体・公簿類は、鍵のかかる場所に保管しなければならない。
- 7 データ処理のため、電子記憶媒体等を保管場所より持ち出す時は、管理簿に持ち出し日時、返却日時等を記入しなければならない。
- 8 個人情報が記録されている電子記憶媒体は、学校内においてのみ使用し、持ち出しについては禁止する。ただし、学校納付金事務については、金融機関に提供する場合においてはこの限りではない。

### 8.個人情報の持ち出し

- 1 個人情報の持ち出しについては原則禁止である。ただし、管理責任者および取扱責任者の許可を得た場合この限りではない。
- 2 許可を得た個人情報の持ち出しについては、通勤時は直帰・直行を原則とし、管理を厳正に行うこととする。

# 研究部

## 目標

教育目標と教育課程の編成  
教科横断的な視点に立った資質・能力の育成

## 各部・係の業務

### 進路指導部

- ①進路に関する行事の企画・推進
- ②地区進路部会等での情報の収集・分析
- ③進路結果の作成
- ④進路学活の年間指導計画作成
- ⑤進路に関する掲示物の紹介
- ⑥市教研への参加

### 研修部

- ①研修会・講習会の計画・運営
- ②研究授業等の計画・立案  
(各部・担当からの研修計画の統括)
- ③指導要領等の伝達講習
- ④教育実習の企画・運営
- ⑤教育実習生の受け入れ

### 教務係

- ①年間指導計画の作成
- ②行事予定の作成・報告
- ③授業時数の累計・調整
- ④職員会議・学校行事等の企画・立案
- ⑤長期休業中の日直割り当て
- ⑥参観・懇談等学校行事の案内状作成
- ⑦入学式・卒業式の企画・立案
- ⑧各教科の目標・年間指導計画の統括
- ⑨教育計画の作成
- ⑩市教研の連絡

### 時程係

- ①日課表の作成
- ②時限合図の変更調整
- ③基本時間割の作成・変更

### 学力向上係

- ①学力向上に関わる企画立案
- ②テスト成績についての統括・保管
- ③テストレギュレーションの決定
- ④テスト時間割の作成
- ⑤学習内容と評価についてプリントの作成
- ⑥チャレンジテストの結果分析

### 評価検討係

- ①通知表の作成
- ②通知表への成績等の記入方法の検討
- ③指導要録記入方法の検討

### 道徳教育係

- ①道徳教育推進委員会の運営
- ②道徳学習の指導計画作成
- ③道徳学習の進捗状況の確認
- ④市教研への参加

### ICT教育係

- ①行事の視聴覚機器の準備
- ②学校ホームページの更新・管理
- ③ICT機器利用の企画・運営
- ④視聴覚室・放送室及び機器・物品の管理・点検
- ⑤教師用PC・機器の管理
- ⑥市教研への参加



# 年間計画・時間割・時間帯・教職員数・生徒数

## 年間授業時数

	国語	社会	数学	理科	音楽	美術	保体	技家	英語	道徳	総合	特活	合計
1年	140	105	140	105	45	45	105	70	140	35	35	50	1015
2年	140	105	105	140	35	35	105	70	140	35	35	70	1015
3年	105	140	140	140	35	35	105	35	140	35	35	70	1015

## 基本時間割

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
1時間目	道徳	総合	授業	授業	授業
2時間目	授業	授業	授業	授業	授業
3時間目	授業	授業	授業	授業	授業
4時間目	授業	授業	授業	授業	授業
5時間目	授業	授業	授業	授業	授業
6時間目	授業	裁量	総合	裁量	学活

## 1年時間割例

	月	火	水	木	金
1	道	英	英	英	体
2	英	数	数	数	社
3	社	国	国	理	英
4	理	体	理	美	国
5	国	音	体	社	英
6	数	英	総	裁	特

## 2年時間割例

	月	火	水	木	金
1	道	総	社	理	英
2	国	社	理	英	音
3	英	体	英	国	国
4	数	理	体	社	理
5	英	国	美	数	体
6	英	数	総	裁	特

## 3年時間割例

	月	火	水	木	金
1	道	総	理	数	理
2	社	英	英	社	数
3	英	美	社	理	英
4	国	数	数	英	体
5	理	体	音	国	社
6	体	国	総	裁	特

※実際は学校行事などの影響による時間割の変更がある。

## 平常時間帯

職員打ち合わせ	8:20-8:30
生徒登校	8:25
朝学活	8:30-8:40
1時間目	8:45-9:35
2時間目	9:45-10:35
3時間目	10:45-11:35
4時間目	11:45-12:35
昼食休憩	12:35-13:15
5時間目	13:20-14:10
6時間目	14:20-15:10
そうじ	15:15-15:25
終学活	15:30-15:40

## 短縮時間帯

職員打ち合わせ	8:20-8:30
生徒登校	8:25
朝学活	8:30-8:40
1時間目	8:45-9:30
2時間目	9:40-10:25
3時間目	10:35-11:20
4時間目	11:30-12:15
昼食休憩	12:15-12:55
5時間目	13:00-13:45
6時間目	13:55-14:40
終学活	14:45-14:55

## 最終下校時刻

3月～9月	18:00
10月、2月	17:30
11月～1月	17:15
12月・短縮日	17:00

## 教職員数 (計 29 名)

校長	1	講師	3
教頭	1	非常勤講師	4
首席	1	司書	1
指導教諭	1	スクールカウンセラ	1
教諭	9	ハートフルアシスタ	1
養護教諭	1	NET	1
主査	1	スクールサポート	1
校務員	1	GIGAスクール	1

## 在籍生徒数・学級編成 (全校計 男 80(3) 女 70(3) 計 150(6)) ※ ( ) はあすなろ学級

1年	男 24(1)	女 33(1)	計 57(2)	2年	男 24(1)	女 16(1)	計 40(2)	3年	男 32(2)	女 21	計 53(2)
1組	男 12	女 17	計 29	1組	男 24(1)	女 16(1)	計 40(2)	1組	男 16	女 11	計 27
2組	男 12(1)	女 16(1)	計 28(2)					2組	男 16(2)	女 10	計 26(2)

令和3 年度行事予定[美加の台中学校]

4 April		5 May		6 June		7 July		8 August		9 September	
1 木		1 土		1 火		1 木	<B45x5>	1 日		1 水	始業式、応援リーダー会議3 パネル2
2 金		2 日	祝日	2 水		2 金		2 月	学年登校日	2 木	1.2年実力テスト、3年チャレンジテスト(3年⑥学)
3 土		3 月	祝日 憲法記念日	3 木	<B45x5>	3 土		3 火		3 金	1.2年実力テスト、放伝達講習1 (~15:00)パネル3
4 日		4 火	祝日 みどりの日	4 金	1年校外学習、3年校外学習 クラブは2年のみ顧問で判断	4 日		4 水		4 土	
5 月		5 水	祝日 こどもの日	5 土		5 月		5 木		5 日	
6 火	入学式(1:30)	6 木	<50x5> 小中合同あいさつ運動、心臓検診(13:30)	6 日		6 火		6 金		6 月	⑥⑦伝達講習2(~16:00)、パネル4
7 水		7 金	<C50x5> ⑥カウンセリング	7 月		7 水		7 土		7 火	⑥⑦伝達講習3(~16:00)、パネル5
8 木	始業式・赴任式・対面式	8 土		8 火	2年農芸体験	8 木	<B45x5>	8 日	祝日 山の日	8 水	放体育大会係会議1
9 金	離任式、二計測	9 日		9 水	心臓2次、⑥専門委員会	9 金		9 月	祝日 振替休日	9 木	<45x5>
10 土		10 月		10 木	<B45x5>	10 土		10 火		10 金	⑥⑦伝達講習4(~16:00)、パネル6
11 日		11 火	検尿2次、内科検診(1:30)	11 金		11 日		11 水	学校閉庁日	11 土	言葉きらめき祭
12 月	平常授業開始、掃除開始、⑥クラブ紹介、仮入部開始	12 水	<50x5> ⑥専門委員会	12 土		12 月	期末懇談会	12 木	学校閉庁日	12 日	
13 火	交通安全指導①	13 木	<C50x5> 耳鼻科検診(1年9:00)	13 日		13 火	期末懇談会	13 金	学校閉庁日	13 月	結団式、⑥⑦応援練習1、パネル彩色開始
14 水	交通安全指導②、仮入部終了	14 金		14 月		14 水	期末懇談会	14 土		14 火	⑥⑦応援練習2、放クラブ写真
15 木	<B45x5>	15 土		15 火		15 木	期末懇談会	15 日		15 水	AM学年練習、⑤⑥召集練習(雨天時9/17PMと入替)、クラブ対抗説明、放体育大会係会議2
16 金	⑥写真(2・3年)、放クラブミーティング	16 日		16 水		16 金	期末懇談会	16 月		16 木	<B45x5>
17 土	PTA新旧運営委員会(10:00)	17 月	中間テスト	17 木	<50x5>	17 土		17 火		17 金	⑥⑦応援練習3
18 日		18 火	中間テスト	18 金	⑥2年自衛隊職場体験事前学習	18 日		18 水		18 土	
19 月	検尿一次	19 水	<C50x5> ⑥カウンセリング	19 土		19 月		19 木		19 日	
20 火	⑥2年農芸出前授業、検尿一次	20 木	<B45x5>	20 日		20 火	大掃除、終業式、油引き、連合生徒会	20 金		20 月	祝日 敬老の日
21 水	⑥委員・役員認証式	21 金	歯科検診(9:00)	21 月		21 水		21 土		21 火	⑥⑦応援練習4(⑤⑥召集練習予備)
22 木	<E45x5> 家庭訪問	22 土		22 火	創立記念日(通常登校日)	22 木	祝日 海の日	22 日		22 水	⑥⑦応援練習リハーサル1
23 金	<D45x4> 家庭訪問	23 日		23 水	期末テスト	23 金	祝日 スポーツの日	23 月		23 木	祝日 秋分の日
24 土		24 月		24 木	期末テスト	24 土	愛いのち平和展	24 火	地区中総体開会式	24 金	④応援練習リハーサル2、⑤⑥⑦体育大会準備
25 日		25 火	眼科検診(1年+抽出10:30)	25 金	期末テスト 応援リーダー会議1、パネル委1	25 日	愛いのち平和展	25 水		25 土	体育大会(雨天:予備日の時間割)
26 月	<D45x4> 家庭訪問	26 水	検尿予備日、⑥全校集会(カラー抽選)	26 土		26 月		26 木		26 日	
27 火	<D45x4> 家庭訪問	27 木	<50x5> 3年全国学力テスト(国・数・質)④⑤3年授業	27 日		27 火		27 金		27 月	(順延時、⑥体育大会準備)
28 水	<D45x4>	28 金		28 月	放 応援リーダー会議2	28 水		28 土		28 火	(体育大会予備日)
29 木	祝日 昭和の日	29 土		29 火		29 木	教育フォーラム	29 日		29 水	代休
30 金	<D45x4> 家庭訪問	30 日		30 水	2年職場体験	30 金	教育フォーラム	30 月		30 木	<B45x5>
		31 月				31 土		31 火			

※予定は年度当初のものであり、途中で変更されることがあります。毎月の学校だよりおよび担任からの日々の連絡をしっかりと確認してください。

2021/4/27 14:14

10 October		11 November		12 December		1 January		2 February		3 March	
1 金		1 月		1 水		1 土	年始休業日	1 火	スキー合宿(2年出発), 音楽出願	1 火	
2 土		2 火		2 木	<B45x5>	2 日	年始休業日	2 水	スキー合宿(1年出発)	2 水	12年学年末テスト
3 日		3 水	祝日 文化の日	3 金		3 月	年始休業日	3 木	<B45x5> スキー合宿	3 木	公立一般出願, 12年学年末テスト
4 月		4 木		4 土		4 火		4 金		4 金	公立一般出願〆切, 12年学年末テスト
5 火	私立高校説明会(ラプリーホール)	5 金	3年実力テスト	5 日		5 水		5 土		5 土	
6 水		6 土		6 月		6 木		6 日	奈良入試	6 日	
7 木	<B45x5>	7 日		7 火	3年実力テスト	7 金		7 月		7 月	
8 金	<45x4> 公立高校説明会(ラプリーホール), PM第2回英検1次試験	8 月		8 水		8 土		8 火		8 火	
9 土		9 火		9 木	<B45x5>	9 日		9 水		9 水	公立一般入試, 放予行準備
10 日		10 水		10 金		10 月	祝日 成人の日	10 木	大阪私学入試	10 木	②卒業式予行, ⑤⑥準備
11 月		11 木	<B45x5>	11 土		11 火	始業式, 3年教育相談	11 金	祝日 建国記念日	11 金	卒業式
12 火		12 金	進路懇談[3年50x4]	12 日		12 水	3年実力テスト	12 土		12 土	
13 水		13 土		13 月		13 木	3年実力テスト, 1,2年チャレンジテスト	13 日	音楽入試	13 日	
14 木	中間テスト	14 日		14 火		14 金		14 月	公立特別出願	14 月	
15 金	中間テスト	15 月	進路懇談[3年50x4], ①3年進路写真, ③④3年授業風景撮影, 検尿2次	15 水		15 土		15 火		15 火	
16 土		16 火	進路懇談[3年50x4]	16 木	<B45x5> 期末懇談会(15:00~)	16 日		16 水		16 水	
17 日		17 水	進路懇談[3年50x4], 検尿予備日	17 金	期末懇談会(14:00~)	17 月	放面接練習	17 木	公立特別入試	17 木	<B45x5> 公立一般発表
18 月		18 木	<B45x5>	18 土		18 火		18 金	公立特別入試	18 金	
19 火		19 金		19 日		19 水		19 土		19 土	
20 水		20 土	土曜参観(学園祭)	20 月	期末懇談会(14:00~)	20 木	<B45x5>	20 日		20 日	
21 木	<B45x5> 検尿1次	21 日		21 火	期末懇談会(14:00~)	21 金	3年学年末テスト, 奈良和歌山出願	21 月		21 月	祝日 春分の日
22 金	検尿1次	22 月	代休	22 水	期末懇談会(14:00~)	22 土		22 火		22 火	
23 土		23 火	祝日 勤労感謝の日	23 木		23 日		23 水	祝日 天皇誕生日	23 水	
24 日	修学旅行	24 水	期末テスト	24 金	大掃除, 終業式	24 月	3年学年末テスト	24 木	<B45x5> 3年懇談	24 木	大掃除, 修了式, 油引き
25 月	修学旅行	25 木	期末テスト, 新入生説明会	25 土		25 火	3年学年末テスト, 私学出願	25 金	3年懇談	25 金	
26 火	修学旅行	26 金	期末テスト	26 日		26 水		26 土		26 土	
27 水		27 土		27 月		27 木	<B45x5>	27 日		27 日	
28 木		28 日		28 火		28 金		28 月	3年懇談, 公立特別発表	28 月	
29 金		29 月		29 水	年末休業日	29 土	和歌山入試	29 火		29 火	
30 土		30 火		30 木	年末休業日	30 日		30 水		30 水	
31 日	第2回英検2次試験			31 金	年末休業日	31 月		31 木		31 木	

# 特活指導部

## 目標

- 1.集団活動を通して、人との関わりを大切にでき、協調性のある生徒を育てる。
- 2.生徒の自発的な活動を支援し、いきいきとした学校生活につなげる。
- 3.生徒組織の自治能力を高める。

## 各部・系の業務

### 生徒会本部指導部

- ①生徒会本部・中央委員会の指導・運営
- ②生徒会行事と専門委員会間の指導・連携
- ③全校集会・生徒総会の指導・運営
- ④選挙管理委員会の指導・運営
- ⑤美加の台学園祭実行委員会への出席
- ⑥市教研への参加

### 学級委員会指導部

- ①学年・学級委員会の指導と運営
- ②学年集会の指導と運営
- ③学年行事の企画と運営

### 体育委員会指導部

- ①体育委員会の指導と運営
- ②体育大会の企画と運営

### 図書委員会指導部

- ①図書委員会の指導と運営
- ②図書室の運営
- ③読書週間の企画・運営
- ④図書購入計画・管理
- ⑤市教研への参加

### 美化委員会指導部

- ①美化委員会の指導と運営
- ②校舎内外の環境の点検・整備
- ③清掃用具の購入・保管・分配
- ④清掃分担表の作成
- ⑤校内清掃活動の立案・指導
- ⑥大掃除の企画・立案・推進
- ⑦スートの管理・整備・点検
- ⑧灯油の配分

### 部活動係

- ①キャプテン会議の企画・指導
- ②年間指導計画の作成
- ③短縮期間中の巡視割り当て作成
- ④部活動最終下校時刻の報告
- ⑤部活動の調整

## 生徒会年間計画

### 目標

- 1.生徒がつながり合い、活気あふれる学校をめざし、生徒の自発的な活動を支援する。
- 2.生徒会本部を中心とした生徒組織を十分に機能させる。
- 3.学校全体のリーダーとして、自ら判断し活動できる生徒会本部役員を育てる。

### 1 学期

入学式・対面式・離任式(花束贈呈)  
全校集会の企画・運営  
体育大会・合唱コンクールへの取り組み  
専門委員会の運営  
連合生徒会

### 2 学期

体育大会・合唱コンクールへの取り組み  
専門委員会の運営  
全校集会の企画・運営  
後期役員選挙  
体育大会オープニングセレモニー  
合唱コンクール開閉会式運営・司会  
美加の台学園祭開閉会式運営  
「3年生を送る会」企画・準備

### 3 学期

全校集会の企画・運営  
専門委員会の運営  
「3年生を送る会」企画・準備  
卒業式に向けての取り組み  
「3年生を送る会」運営  
卒業式送辞  
前期役員選挙

# 学級委員会年間計画

## 1年

### 1学期

- ・学年集会の運営
- ・クラス・仲間づくり
- ・行事(校外学習)への取り組み

### 2学期

- ・学年集会の運営
- ・体育大会・合唱コンクールへの取り組み

### 3学期

- ・行事(スキー合宿)への取り組み
- ・3年生を送る会への取り組み
- ・卒業式への取り組み

## 2年

### 1学期

- ・学年集会の運営
- ・クラス・仲間づくり

### 2学期

- ・学年集会の運営
- ・体育大会・合唱コンクールへの取り組み

### 3学期

- ・行事(スキー合宿)への取り組み
- ・3年生を送る会への取り組み
- ・卒業式への取り組み

## 3年

### 1学期

- ・学年集会の運営
- ・クラス・仲間づくり

### 2学期

- ・学年集会の運営
- ・体育大会・合唱コンクールへの取り組み
- ・行事(修学旅行)への取り組み

### 3学期

- ・卒業式への取り組み
- ・3年生を送る会への取り組み

# 各委員会年間計画

## 体育委員会

### 1学期

- ・体育大会実行委員会(生徒)発足
- ・学級討議(スローガン・種目・応援委員・パネル委員)
- ・スローガン決定・発表
- ・全校集会の企画
- ・カラー抽選・競技種目決定
- ・選手決定

### 2学期

- ・結団式・全体練習運営
- ・体育大会
- ・異学年交流の企画・運営

### 3学期

- ・体育倉庫の清掃

## 図書委員会

### 1学期

- ・図書室開館
- ＊図書室利用について説明
- ・前期の取り組み決定
- ・全校集会の企画
- ・貸し出し促進キャンペーン
- ・図書委員会だより
- ・POP 作製・展示
- ・夏休み長期貸し出し
- ・合唱コンクールスローガン製作
- ＊夏読書(図書室開放)

### 2学期

- ・後期への引き継ぎ
- ・後期の取り組み検討・決定
- ・読書週間校内PR

### 3学期

- ・図書室閉館
- ・図書整理

## 美化委員会

### 1学期

- ・校内美化活動啓発
- ・清掃用具の調査と配置
- ・ガーデニングの取り組み
- ・全校集会の企画
- ・夏休み中の花の水やり
- ・体育大会スローガン制作計画
- ・校舎内の大掃除と油引き

### 2学期

- ・体育大会(準備係)への取り組み
- ・掃除用具の点検
- ・清掃活動についての指導
- ・ガーデニングの取り組み
- ・美化活動啓発
- ・ストーブの設置・給油・管理
- ・校舎内の大掃除

### 3学期

- ・ストーブの給油・管理
- ・卒業式準備(飾りつけ)の計画
- ・校舎内の大掃除・油引き
- ・ストーブの片づけ

## 美加の台学園祭実行委員会

### 1学期

- ・合唱コンクール実行委員選出
- ・パート分け・パートリーダーの決定
- ・実行委員会の運営
- ・スローガン決定・発表
- ・自由曲・伴奏者・指揮者の決定
- ・パートリーダー研修

### 2学期

- ・指揮者・伴奏者講習会
- ・実行委員会運営
- ・パートリーダー研修
- ・クラス練習運営
- ・合唱コンクール
- ・学園祭

## 選挙管理委員会

### 1学期

- ・前期の取り組みの検討

### 2学期

- ・公示・立候補者受付開始
- ・ポスター作成
- ・立候補者最終打ち合わせ・準備
- ・立会演説会・生徒会役員選挙
- ・後期の取り組みの検討

### 3学期

- ・公示・立候補者受付開始
- ・ポスター作成
- ・立候補者最終打ち合わせ・準備
- ・立会演説会・生徒会役員選挙

## 部活動

### 1学期

- ・キャプテン会議
- ・名簿の作成・集約
- ＊予算の分配
- ＊夏休みの活動予定:集約

### 2学期

- ・キャプテン会議
- ・クラブ対抗リレー(体育大会)の開催
- ＊冬休み活動計画:集約

### 3学期

- ＊クラブ予算の決算
- ＊春休み活動計画:集約
- ・キャプテン会議

# 生徒指導部

## 目標

### ア:安心して、のびのび生活・学習できる仲間づくり

- 1: 行事や日々の活動を通してお互いを理解し合い、認め合い、支え合う仲間づくり
- 2: 悩みを気楽に相談できる体制
  - \* 養護教諭、スクールカウンセラー、ハートフルアシスタントと連携する。
  - \* 担任や学年集団で対応する。

### イ: 学びの基本的な態度を身につける。 (学び方を学ぶ)

- 1: 授業中に意欲的に学ぶ。
- 2: 自ら学ぶ姿勢を身につける。

### ウ: 保護者・地域・小学校との連携

- 1: 生徒の問題行動については、保護者に指導協力を早期に依頼する。
- 2: 生徒指導の方針等について、保護者にアナウンスすると同時に、保護者の意見を積極的に収集する。
  - \* 保護者向けアンケート
  - \* 懇談会における聞き取り
- 3: 小学校との交流を活発にする。
  - \* 継続的な生徒指導
  - \* 教員の相互乗り入れ授業や児童生徒の異学年交流の実施
  - \* 情報交換(行事・校則)

## 各部・系の業務

### 生徒指導部

- |             |                  |                |
|-------------|------------------|----------------|
| ①生徒指導方針の決定  | ⑤街頭補導            | ⑨家庭訪問の案内状作成・配布 |
| ②生徒証明書の作成   | ⑥外部関係機関との連携      | ⑩制服・体操服・名札等の管理 |
| ③生徒名簿・写真の作成 | ⑦スクールカウンセラーとの連携  | ⑪学期中の日直割り当て    |
| ④欠席・遅刻調査    | ⑧ハートフルアシスタントとの連携 | ⑫市教研への参加       |

### 学年生徒指導係

- ①学年の生徒指導全般に関わる業務
- ②生徒指導連絡会への出席

### いじめ・不登校対策係

- ①いじめ・不登校対策の推進
- ②いじめ・不登校対策委員会の企画・運営

### 支援教育係

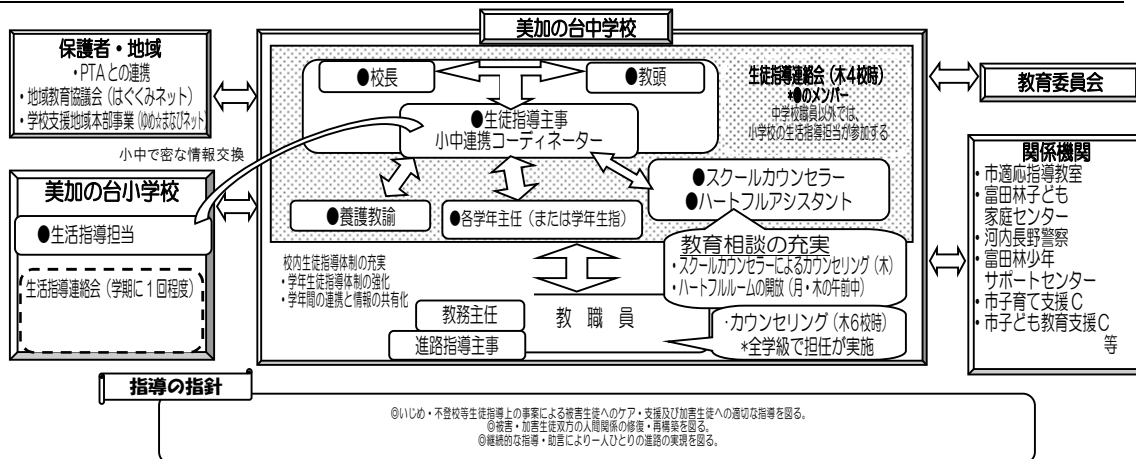
- ①支援学級・支援教育の推進
- ②支援教育委員会の企画・運営
- ③市教研への参加

## 1. 本校の生徒指導上の課題と取り組み

### 全体的な課題

- 学習に対する取り組みは大まじめで熱心ではあるが、やや受身的な傾向がある。
- 生徒は素直で優しい生徒が多いが、やや自主性・創造性に欠ける面がある。
- 1小学校-1中学校の教育環境のため、人間関係が固定化しがちである。

### 美加の台中学校の機動的な生徒指導体制



## 生徒指導部の取り組み

### A:教職員が問題行動を発見した場合

- ①発見した教職員がその場で指導する。
- ②学級担任に報告する。
  - \*学級担任は、学年生指に報告。
  - \*学年生指は、状況に応じて生徒指導主事に報告。
  - \*生徒指導主事は、状況に応じて管理職に報告。
- ③担任は、状況に応じて、家庭と連絡をとる。  
(その日のうちに)
  - 1:電話で・・・複雑な(長くなる)話は避ける。
  - 2:家庭訪問をして
  - 3:学校に保護者に来てもらって  
(2と3共通)\*複数の教師で  
\*生徒にも立ち合わせる。(事実確認)

### B:生徒や地域の人から問題行動の報告があった場合

- ①できるだけ、具体的な情報を確認する。  
(名前を確かめておく)
- ②現場に走る。(複数の教師で)
  - \*内容によっては、保護者に連絡をする。
- ③(対象生徒に)事実確認をする。
- ④指導する。
- ⑤学級担任に報告する。(以後は、Aの流れで)

### C:情報の共有化について

- ①次のような場合は、必ず問題行動の情報を全職員で共有する。
  - a:問題が重大である場合  
(暴力・傷害・いじめ・他校生が関係する事案など)
  - b:他学年にも影響を及ぼす場合(服装・頭髮など)
    - \*原則として、次の日の職員朝礼で担任(または学年生指・生徒指導主事)が、報告する(時間がかかる場合は、放課後に臨時の職員会議を設ける)。
    - \*急を要する場合はすぐに職員室に集まる。(校内放送で)
- ②毎週定例実施の生徒指導連絡会や職員会議等で各学年から情報を報告する。

### D:情報の守秘義務について

- ①指導の場所については、十分に配慮する。  
(原則として、他の生徒に指導の内容が聞こえない・見えない場所で)
- ②生徒のいる場所(特に職員室)での会話には細心の注意を払う。
- ③外部(マスコミ等)との対応は、原則として管理職を窓口とする。

## 2. 生徒指導部 年間計画

### 校内(生徒・保護者向け)

- 1 学期**
- ・「中学生生活を充実させるために」  
【新入生保護者】
  - ・「学校生活について」(校則)
  - ・生徒個人カード
  - ・生徒証明書・名札
  - ・非行防止教室
  - ・学校生活アンケート
- 2 学期**
- ・スクールカウンセラー案内
  - ・学校生活アンケート
- 3 学期**
- ・「卒業後に学校を訪問するとき」
  - ・「春休みの生活について」
  - ・学校生活アンケート

### 校内(教師向け)

- 1 学期**
- ・「学校生活について(職員用)」
  - ・生徒指導についての確認事項
  - ・不審者等の対応について
  - ・「生徒保護者名簿」
  - ・生徒指導上の課題と取り組み
  - ・生活当番表(1学期・2学期)
  - ・家庭訪問について
- 2 学期**
- ・小6部活動体験について
  - ・生活当番表(3学期)
- 3 学期**
- ・卒業式の指導体制

### 校外との関連行事

- 1 学期**
- ・学級写真の撮影手配
  - ・中高連絡会
  - ・犯罪被害防止教室
- 2 学期**
- ・小6部活動体験
  - ・新入生保護者説明会
- 3 学期**
- ・小中生指連絡会  
(小6担当と中3担当)
  - ・中高連絡会

### 3. いじめ防止基本方針

#### いじめに対する本校の基本認識

いじめは、人として許されない行為である。その生徒の心を将来にわたって深く傷つけるものであり、生徒の成長に大きな影響を及ぼし、場合によっては命さえも奪ってしまう。まさに、人権にかかわる重大な問題である。全教職員が、いじめはもちろん、いじめをはやし立てたり傍観したりする行為も絶対に許さない姿勢で、生徒のどんな些細な変化も見逃さない鋭い人権感覚を持ち、常に生徒の話を傾聴することが大切である。そのことが、いじめの事象の発生、深刻化を防ぎ、いじめを許さない生徒の意識を醸成することになる。

そのために、学校は教育活動の全てにおいて、命や人権を大切にすることを育てることや、教職員自身が生徒一人ひとりを多様な個性を持つかけがえのない存在として尊重し、生徒の心の発達を支援するという生徒観、指導観に立ち、指導を徹底することが重要となる。

本校では、「豊かな心(人間性)をもち、進んで未来を切り拓いていく生徒の育成」を道徳教育の目標としており、いじめは重大な人権侵害事象であるという認識のもとに、ここにいじめ防止基本方針を定めることとする。

#### いじめの定義

いじめ防止対策推進法(以下、「法」という)第2条には、「『いじめ』とは、児童等に対して、当該児童等が在籍する学校に在籍している等当該児童等と一定の人的関係にある他の児童等が行う心理的又は物理的な影響を与える行為(インターネットを通じて行われるものを含む。)であって、当該行為の対象となった児童等が心身の苦痛を感じているものをいう」と定義されています。

「一定の人的関係」とは、学校の内外を問わず、同じ学校・学級や部活動の児童生徒や、塾やスポーツクラブ等当該児童生徒が関わっている仲間や集団(グループ)など、当該児童生徒との何らかの人的関係をさします。また、「物理的な影響」とは、身体的な影響のほか、金品をたかられたり、隠されたり、嫌なことを無理矢理させられたりすることなどを意味します。

【いじめ防止対策推進法より】

具体的ないじめの現れ方には、以下のようなものがある。

- 冷やかしかからかい、悪口や脅し、嫌なことを言われる
- 仲間はずれ、集団による無視をされる
- 軽くぶつかられたり、遊ぶふりをして叩かれたり蹴られたりする
- ひどくぶつかられたり、叩かれたり蹴られたりする
- 金品をたかられる
- 金品を隠されたり、盗まれたり、壊されたり、捨てられたりする
- 嫌なことや恥ずかしいこと、危険なことをされたり、させられたりする
- パソコンや携帯電話で、誹謗中傷やいやなことをされる 等

いじめの解消の確認方法には、以下のようなものがある。

- 3ヶ月以上にわたって上記のようなことが確認できないこと
- 保護者との面談により、確認すること

#### いじめ防止のための組織

名称 いじめ・不登校対策委員会

##### 構成員

校長、教頭、生徒指導主事、いじめ不登校支援コーディネータ、道徳教育係、人権教育係、学年生指、SC、HA

##### 役割

- ア 学校いじめ防止基本方針の浸透と見直し
- イ いじめ事案への対応
- ウ 教職員の資質向上のための校内研修の推進
- エ 年間計画の策定と進捗のチェック

#### 学校年間計画

##### 1 学期

いじめ・不登校対策委員会  
学校生活アンケート

##### 2 学期

いじめ・不登校対策委員会  
学校生活アンケート

##### 3 学期

いじめ・不登校対策委員会  
学校生活アンケート

#### 各学年の年間計画

##### 1 学期

学校生活アンケート  
カウンセリング時間の確保

##### 2 学期

学校生活アンケート  
カウンセリング時間の確保

##### 3 学期

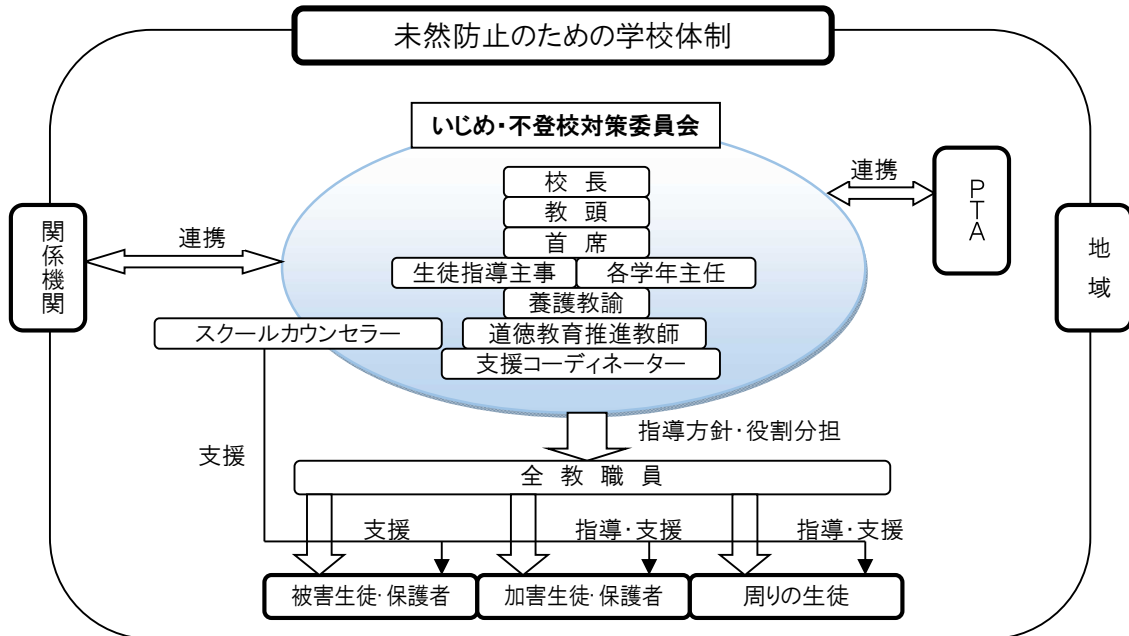
学校生活アンケート  
カウンセリング時間の確保



## いじめ防止の基本的な考え方

いじめの未然防止にあたっては、教育の場である学校・学級が命と人権を尊重するあたたかい環境であることが求められる。この環境を基盤として、各教科、特別活動、道徳の時間、総合的な学習の時間をはじめとして、学校生活のすべての場面で、人権に関する理解と人権感覚を磨く学習活動を推進していく必要がある。

特に、生徒の自尊感情や自己有用感を高めるため、また対等で豊かな人間関係を築くための具体的なプログラムを作成し実施する。その中で、生徒間の信頼関係を高め相手の思いを共感的に受容する想像力と感受性を育てていく。これらの教育活動を推進する組織として、「いじめ防止委員会」を設置し、活動母体とする。



## いじめの未然防止のための取り組み

### 生徒一人一人の自己有用感を高め、自尊感情を育む教育活動

教師ひとり一人が分かりやすい授業を心がけ、生徒に基礎・基本の定着を図るとともに学習に対する達成感・成就感を育て、自尊感情を高めることができるように努める。また、自他の存在を認め合い、尊重し合える態度を養うことや、円滑に他者とコミュニケーションを図る能力を育てることを目標に据えた授業や学校行事を行う。

### いじめを許さない、見過ごさない雰囲気作り

生徒が自らいじめについて学び、取り組むために、生徒会活動を充実させる。生徒会は本来、生徒自身の生活を向上させるものである。そこで、いじめという苦しい状況で生活しなくてもいいように、学校生活を改善し向上させる取り組みを充実させていく。そのために生徒会担当者を中心に、教職員全員で取り組む。

### 教職員の共通認識

未然防止に取り組むには教職員の認識が一定でなければならない。いじめを助長するような教職員の不適切な認識や言動等、指導の在り方に注意を払うため、生徒指導の在り方について共通認識を持つ必要がある。全教職員で取り組むべきは、生徒に寄り添い生徒の心をほぐす指導である。まずは生徒の「声を聴く」ということを大切にすること。

また、職員会議や校内研修を通して、人権感覚を磨き、道徳・人権学習の研修を行うことで、生徒に適切な道徳・人権指導を行う。

## いじめの早期発見に向けての取り組み

### 基本的な考え方

いじめの特性として、いじめにあっている生徒はいじめを受けていることを認めることは恥ずかしいと考えたり、いじめの拡大を恐れたりして、誰にも訴えることができないことが多い。そのため、教職員には、生徒の何気ない言動の中に心の訴えを感じ取る鋭い感性と、隠れているいじめの構造に気づく洞察力、生徒相互の信頼関係を築いていこうという熱い思いが求められる。一見遊びのようでいて、その行為の中で無理やり笑顔を作っている子はいないか。言動・表情・服装など生徒が示す小さな変化から、自傷行為、体調の変化、遅刻や欠席などに至るまでの危険信号を見逃さない。

生徒の変化に気がついた場合は、情報共有が必要である。日ごろから積極的に生徒を話題にした会話をし、教員・養護教諭・ハートフルアシスタント、カウンセラー等多くの目で生徒を見守り、組織として対応していく。

### いじめの早期発見のための措置

- ① 学期に1回以上担任によるカウンセリングと6月、11月、2月にアンケート調査を行う。日常の観察としては、生徒との対話、注意深く観察することに加えて、生活ノートや班長会議等も活用し、積極的に情報収集する。
- ② 保護者と連携強化のために、日常から丁寧な家庭訪問や電話連絡を行い、家庭での様子を把握する。また、学期末の三者懇談においても情報交換を行う。
- ③ 相談窓口として、担任以外にもハートフルアシスタントやスクールカウンセラー、生徒指導主事、養護教諭等がいることを生徒・保護者に周知する。
- ④ 相談等で得た個人情報について、その対外的な取り扱いについては、生徒に不利益が生じないように慎重を期す。

## いじめへの対応

### 基本的な考え方

何よりもまずいじめを受けた生徒のケアが最優先である。一方で、加害生徒がいじめ行為に及んだ原因・背景を把握・分析し丁寧に指導に当たることも重要である。いじめた生徒が、なぜその行為に至ったのかを自分自身で認識し、心から悔い、相手に謝罪するに至るように、丁寧に継続的な指導が必要である。

### いじめの発見・通報(相談)を受けた時の対応

- ①ささいな兆候・疑いのある行為には慎重かつ丁寧に関わりをもつ。その際、いじめられている生徒や知らせてきた生徒の安全を確保するように配慮する。
- ②教職員は一人で抱え込むことなく、速やかに学年主任等に報告し、組織として情報共有を行う。その後、関係生徒から事情を聞き取るなどして、いじめの事実の有無を確認する。
- ③事実確認後いじめが認知された場合は、管理職が市教育委員会に報告し、関連機関と連携する。
- ④被害・加害生徒の保護者への連絡は、家庭訪問を原則とし、直接合って丁寧に伝える。

### 重大な事案である場合の対応

- ①いじめが犯罪行為として取り扱われるべきものと認められる場合は、所轄警察署と連携し、助言を受けながら被害生徒を保護していく。
- ②生命の危機、身体または財産に重大な被害が生じるおそれがあるときは、重大事態として直ちに所轄警察署に通報し、適切に援助を求めるとともに、事実関係を明確にするためにいじめ防止委員会が調査を行う。
- ③いじめにより相当の期間学校を欠席せざるを得ない場合も、重大事態として管理職が市教育委員会に報告するとともに、いじめ防止委員会が事実関係を調査し、学力保障の措置を講ずる。
- ④重大事態において、学校主体の調査では対応および同種の事態発生の防止に必ずしも十分な結果を得られないと判断する場合や、学校の教育活動に支障が生じるおそれがあるような場合は、市教育委員会にその対応の一部をゆだねる。

### いじめられた生徒またはその保護者への支援

- ①いじめた生徒の別室指導や出席停止などにより、いじめられた生徒が落ち着いて教育を受けられる環境を確保する。そして、家庭と連携しながら、いじめられた生徒が信頼できる人に協力を得て、いじめ防止委員会が中心となって対応する。養護教諭、スクールカウンセラー、ハートフルアシスタント等を活用し、生徒の心のケアを図る。

### いじめた生徒への指導とその保護者への助言

速やかにいじめをやめさせた上で、事実関係の聞き取りを行う。その後、保護者と連携し、協力を求めるとともに、継続的な助言を行う。いじめた生徒への指導に当たっては、当該生徒が抱える課題など、いじめ行為に加えてその背景に目を向け、学校外の関連機関とも協力しながら継続的な指導をしていく。

### いじめが起きた集団への働きかけ

いじめを見ていたり同調していたりした生徒に対しても自分の問題としてとらえさせる。「観衆も「傍観者」もいじめをうけていた生徒にとっては、いじめの苦痛だけでなく、孤立感も強める存在であったことを理解させ、共感的に当事者意識を持たせる指導を行う。「観衆」や「傍観者」は、いじめの被害者になることへの不安や恐怖をもっていると考えられるので、教職員が「いじめは絶対に許さない」「いじめられた子は守り抜く」という姿勢を示し、生徒とともに「いじめのない学校づくりをめざそう」という学校文化を根付かせる。

### 地域との協力体制

地域との様々な協働活動を通して、学校の様子を知っていただくとともに、学校の課題についても共有し、子どもを取り巻く地域として協力してもらえることを提案していく。また、生徒にとっては多様な価値観を持つ大人との関わりの中で、自分と違う立場の人を受容することや思いやりをもって接する態度がはぐまされるとともに、自分自身を価値ある存在として認識し、自尊感情を高めることができる。積極的に情報公開し、地域からの情報と共にそれぞれの立場で生徒の健全育成をめざす。

### ネット上のいじめへの対応

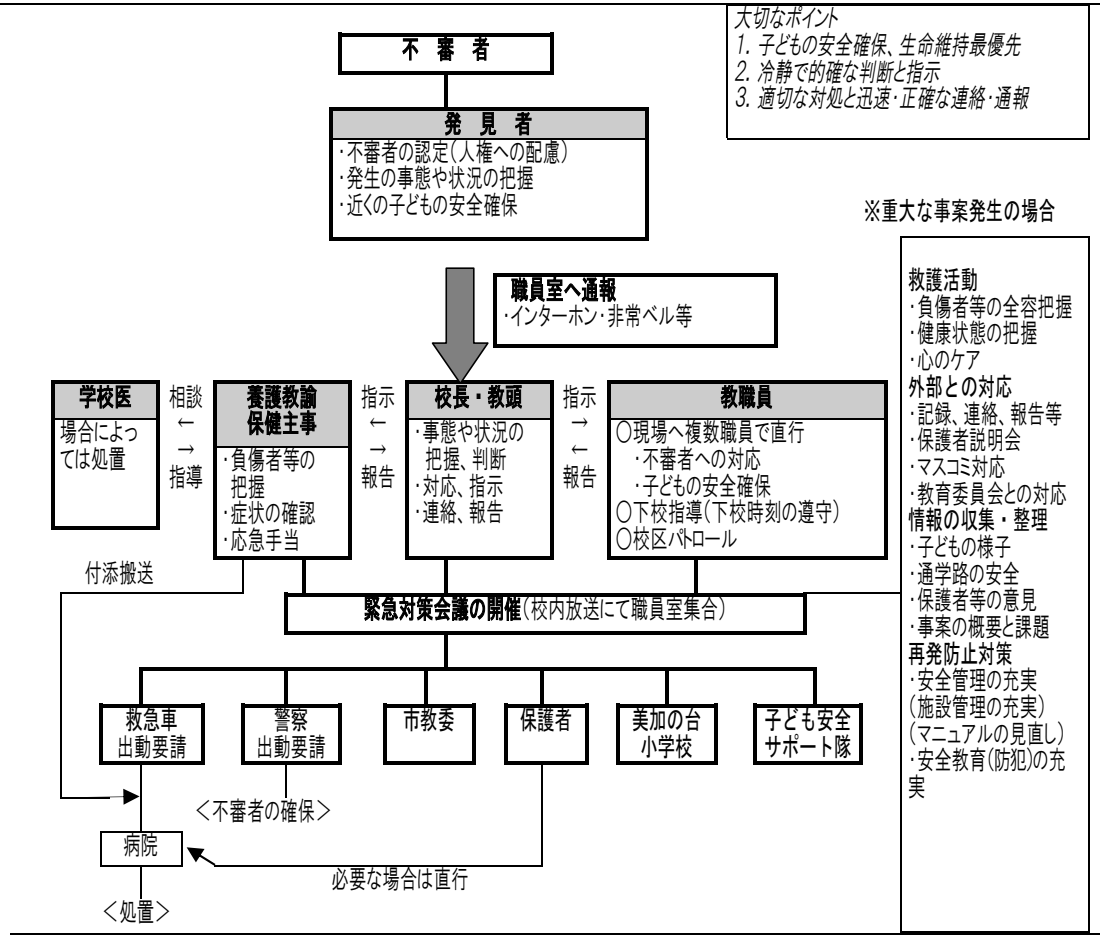
- ①ネット上の不適切な書き込み等があった場合には、まず学校として問題の箇所を確認し、いじめ防止委員会において協議し、関係生徒への聞き取り調査等、被害生徒のケアを最優先にして必要な措置を講ずる。
- ②書き込みへの対応については、削除要請等、被害にあった生徒の意向を尊重するとともに、当該生徒・保護者の精神的ケアに努める。また、書き込みの削除や書き込んだ者への対応については、必要に応じて所轄警察署等、外部機関と連携して対応する。
- ③情報モラル教育を進め、保護者にも啓発を行う。

## 4. 不審者等の対応

### 普段からの不審者対策

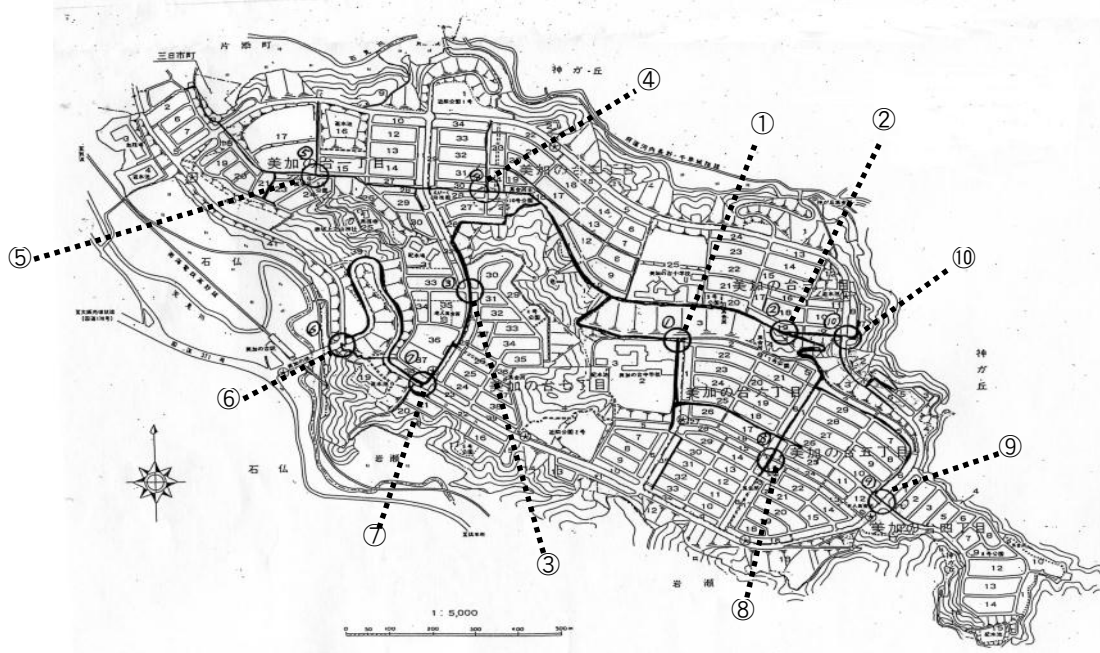
- ・職員室のインターホンが鳴れば、防犯カメラで来校者を確認し、名前・用件を聞き取る。
- ・来校者に対しては、出会った教職員が「声かけ」を欠かさず行う。
- ・本校保護者については、参観・懇談時のみならず、来校時はPTA IDカードを着用してもらう。
- ・下校時刻を確実に守らせ、複数で登下校するように指導する。
- ・身に危険を感じたら、大声を出したり、防犯ブザーを鳴らし、近くの民家へ飛び込むように指導する。
- ・校内の戸締まりを確実にを行う。

**不審者等の緊急対応マニュアル**



**校区パトロール(大規模地震発生時も適用)**

- ※ポイントチェック巡視 ○数字はポイント番号 ※トランシーバー持参、車に「安全安心ステッカー」添付
- ①⑧⑨、4-5-6丁目…1年学年主任、③⑤⑥⑦、1-7丁目…2年学年主任
- ②④⑩、2-3丁目…3年学年主任
- ※学校待機 緊急対応:校長、教頭、生徒指導主事、養護教諭、ハートフルアシスタント、図書館司書
- ※学級指導 :各学級担任、あすなろ学級担任



## 5. 支援教育

### 支援教育推進方針

#### ① 学校教育目標における支援教育目標

学校教育目標『和(輪)』の精神のもとに、「お互いの人権を尊重し、心の痛みに共感できる感性豊かな生徒を育てる」ことを掲げており、「支援学級を学校教育活動の中核に位置付け、支援学級在籍生徒を支える集団をつくる」ことを目指し、全教職員で取り組む。在籍生徒の実態を的確に把握・分析し、基礎学力を身につけさせると共に、自立を目指して、一人ひとりの実態に応じた教育課程を編成・実施する。

#### ② 授業や学習環境、生徒指導等におけるユニバーサルデザインの推進

「合理的配慮」のひとつとして、集団の学習において特別な支援の必要な児童生徒が達成感を味わえるようにするため、授業のユニバーサルデザイン化と個別の支援を組み合わせた支援を行う。具体的には、電子黒板や大型テレビ、iPadを活用して写真やノートの拡大図を提示する、テスト問題用紙の図表などを見やすく作成する、個々の生徒の状況に応じて問題用紙を拡大するなど視覚的な支援の工夫を行う。また、安心して学習に取り組めるような肯定的な評価などの支援を行う。

#### ③ 障がいのある児童生徒への理解を深めるための通常の学級・学年における指導計画

通常の学級生徒の支援学級在籍生徒への理解が深まるよう、すべての教職員が支援教育と障がいについての理解を深め、「共に学び、共に育つ交流教育」を適切、かつ効果的に推進する。障がいについて理解をすすめる、支援学級が存在する意味を考える授業を設ける。学習環境の整備、充実に努めると共に、全校の生徒と交流できるよう教室を開放し、支援学級入級生の理解のきっかけとなるように努める。

#### ④ 教員のための支援教育研修計画

人権尊重の精神に基づく支援教育を推進するため、支援教育委員会を毎月1回開催する。また、通常の学級に在籍する、個別の教育的支援を必要とする生徒の実態を把握すると共に、全職員がその情報を共有し、支援の体制を整える。支援の必要な生徒ばかりではなくすべての生徒がわかりやすい指導方法のあり方などについて研修を実施し、支援教育の推進に努める。

#### ⑤ 保護者および地域社会への理解推進計画

「みんな(生徒・保護者・地域・教職員)が輝き、感動を味わえる学校」を目指して教育活動を展開していくうえで、支援学級においては、保護者の願いを受け止めると共に、保護者との連携を密にし、温かい、魅力ある、開かれた支援学級の経営に努める。保護者には将来必要となしに必要支援を受けることができるようにサポートブックの作成を勧め、学校もその作成に協力していく。

保護者や地域社会に、本校の支援教育の正しい理解が得られるよう、啓発に努める。

#### 年間指導計画

	月	地区・市内の行事	校内行事
1 学期	4		
	5		学年行事 (校外学習)
	6		1日参観
2 学期	7	市内中学校 なかよし交流会 小中交流会	期末懇談会
	9	市内中学校 交流遠足	体育大会
	10	地区中学校 なかよし運動会	修学旅行 合唱コンクール
	11	地区中学校ブロック 別なかよし交流会	美加の台学園祭
3 学期	12	市内中学校 なかよしクリスマス会	期末懇談会
	1		1日参観
	2	地区小中学校なかよし作品展	学年行事 (スキー合宿) 学年行事 (フィールドワーク)
	3		(学年末懇談会)

# 健康安全部

## 目標

心身ともに健康な体作りをめざし、自己の健康管理及び安全管理ができる生徒の育成をはかる

## 系の業務

### 健康安全係

①学校保健行事の企画・運営	⑤避難訓練の企画・立案	⑨安全点検のまとめ
②健康教育の推進	⑥校舎内外の安全点検(各学期1回)	⑩日本スポーツ振興センターの給付事務
③学校の美化・環境教育の推進	⑦防火管理責任者の確認	⑪学校保健委員会の企画・運営
④交通安全指導計画の作成	⑧年度末教室整備の企画・推進	⑫市教研への参加

### 年間計画

月	目標	保健行事等	保健指導	安全指導
4月	自分の体を知る	身体測定 視力・聴力検査 検尿1次 運動器検診	健康診断の意義と正しい受けかた 疾病調査について (保健調査・心臓病調査・検診問診票等)	椅子・机の安全点検 通学路の安全点検 春の交通安全指導
5月	病気治療	耳鼻科検診 尿検査2次・予備 心電図検査 内科検診 眼科検診 歯科検診	検診や検査の正しい受け方 治療勧告の必要性について	避難訓練(消防) 飲料水の水質検査
6月	虫歯予防	心臓検診2次	虫歯予防週間 正しい歯の磨き方や食事について 梅雨期の健康管理	安全点検(定例) プールの水質検査 プール開き
7月	健康な夏		夏休みの健康的な過ごし方 熱中症の予防と手当て	安全なプール水泳指導 水難救助講習会 安全総点検と修理 けがの予防処置と講習
9月	自分の体を大切に	救急の日(9日)	夏休み中の健康調査 けがの予防と手当てのしかた	
10月			「目の愛護デー」の意義	避難訓練 照度検査
11月		学校保健委員会 歯科衛生指導	かぜの予防について 歯科衛生指導	安全点検(月例) 飲料水の水質検査
12月	かぜの予防	暖房開始 色覚検査	冬休みの健康的な過ごし方 かぜの予防について	安全総点検と修理 暖房器具の点検
1月			生活リズムの大切さについて かぜの予防について スキー合宿前の健康相談	炭酸ガスの測定
2月	規則正しい生活習慣	スキー合宿	かぜの予防について 規律ある生活習慣について がん教育・薬物防止教育・性に関する指導	安全点検(月例)
3月		1年間の反省	耳の大切さについて 本年度の反省と次年度への取り組みについて	本年度の反省と次年度への取り組み 安全総点検と修理

# 食育教育指導

## 目標

心身ともに健康な体作りをめざし、自己の健康管理及び安全管理ができる生徒の育成をはかる

## 食に関する指導の目標

- ①食事の重要性、食事の喜び、楽しさの理解をする。
- ②心身の成長や健康の保持増進の上で望ましい栄養や食事の摂り方を理解し、自ら管理していく能力を身につける
- ③正しい知識・情報に基づいて、食事の品質及び安全性等について自ら判断できる能力を身につける
- ④食物と命のつながりに注目し、食物の生産関わる人々への感謝の心を育む
- ⑤食事のマナーや食事を通じた人間関係形成能力を身につける
- ⑥各地域の産物、食文化や食に関わる歴史などを理解し、尊重する心をもつ

## 指導計画

特別活動	学級活動 及び 全校一斉 指導	1年	・朝食の大切さを見直そう ・「農・食・命」のつながりを学ぶ	・夏の健康と食事について考えよう ・日本食を知ろう ・準備片付けの協力	・楽しい食事の時間を考えよう ・食事のマナー ・府立農芸高校との交流
		2年	・成長期の食事を知ろう ・「農・食・命」のつながりを学ぶ	・夏の健康と食事について考えよう ・地域産の食材を使って料理を考えよう ・衛生的な食事	・食文化について考えよう ・食事のマナー ・府立農芸高校への訪問実習
		3年	・行事食の由来について知ろう	・旬の食材について知ろう ・抵抗力を高める食事について知ろう ・衛生的な食事	・生涯の健康について考えよう ・食事のマナー
	学校行事	身体測定、歯科検診、 宿泊行事、食育月間		・授業参観 ・体育大会	
	学校保健部	・組織作り ・年間計画作成 ・生活・食のアンケート		・スナック菓子の塩分・脂肪分調査 ・牛乳と他の飲み物の栄養比較 ・風邪の予防と健康チェック	・今年度の活動の反省 ・牛乳の残量調査
教科との 関連	技術・家庭科	1年	生物育成の技術 (1)生物の成長などの原理・法則と基礎的な技術の仕組み (2)安全・適切な栽培又は飼育・検査 衣食住の生活 (1)食事の役割と中学生の栄養の特徴 (2)中学生に必要な栄養を満たす食事 (3)日常食の調理と地域の食文化		
	保健体育	1年	(1)心身の機能の発達と心の健康		
		3年	(4)健康な生活と病気の予防		
	理科	[副読本]	(1)植物の生活と種類 (2)動物の生活と種類 (7)自然と環境		
	社会	1年	「地理的分野」世界と比べてみた日本		
		3年	「公民的分野」(1)現代社会と私たち生活		
	道徳	1年	思いやりと感謝・生命の尊重		
		2・3年	集団・社会とのかかわり、生活習慣、家族愛		
	総合的な学習の時間	1年	野外活動(校外学習)		
	家庭・地域との連携	学校だより、保健だより			
	個別相談	食物アレルギーへの対応(野外活動・泊を伴う行事など) 保護者から健康調査などの申し出による個別指導			

# 学校防災計画

## 防災規定

1. 校内に非常変災が起こった時は、非常ベルによって急報すること。
2. 非常変災が起こった時は、職員は学校長・警察署・消防署・市教育委員会及び他の職員に急報すること。
3. 退勤後非常変災が起こった時は、学校長及び職員は直ちに出勤すること。
4. 非常変災が起こった時は、職員はその状況により直ちに重要物件を安全な場所に持ち出すこと。
5. 生徒が存校中に非常変災が起こった時は、次に定める細則によって生徒を安全な場所に確実に避難させ、職員で保護すること。
6. 学校長は、あらかじめ非常変災に備えて職員・校務員にそれぞれの部署及び処置方を明確に指示しておくこと。
7. 前項の部署により年間計画を立てて非常時の訓練を実施すること。

## 実施細目

### 防火対策

- ①火元責任者  
表1のとおり、防火管理の責任区域を定める。
- ②防火施設  
火災発生の際は、次の施設を活用するように平素から職員及び生徒に、その位置並びに使用法をよく知らせておく。  
・消火栓 ・水道 ・消火器 ・バケツ ・火災報知器
- ③ 巡視及び火災予防  
1)職員は防災規定に基づいて校内の巡視を行う。  
2)平素から避難訓練を実施するとともに、消火用器材の整備と充実につとめる。
- ④ 分担任務  
1)連絡：サイレンを鳴らす。警察署・消防署・市教育委員会に至急連絡する。休日の場合、学校長以下全職員に連絡する。  
2)避難：生徒を定められた経路によって、所定の安全な場所に避難させる。集合後、人員を点呼して異常の有無を把握すると共に、学校長の指示でその後の処置をする。  
3)撤出：重要書類・重要校具・教具の順に撤出し、第一次置き場は運動場とする。その際、臨時に保管責任者を置く。  
4)防火：生徒在校時は避難誘導を第一とし、その安全を確認した後に職員で初期消火にあたる。休日及び職員不在のときは、校務員・近隣の応援を求めて初期消火にあたる。状況によっては電源を切る。

### 地震対策

- 地震の時は落下物に注意し、すみやかに電源を切る。
- ①室内  
授業担当者が判断して、生徒を机下に避難させること。状況によっては生徒を屋外に避難させること。この際には、不慮の事故を防止するために大声で指示して、冷静に行動させること。また、生徒全員の離脱を確認すること。
  - ②屋外  
校舎の近くにいる場合は、すみやかに建物から遠ざかり、所定の場所に避難させること。
  - ③避難  
落下物からの危険を防ぐために、頭部にカバン等をのせる。経路その他の処置は防火対策に準じること。特に階段には気をつけること。
  3. 台風対策  
①暴風警報発令中は、生徒は家で待機すること。  
②学校長は各報道機関の状況を聴取して、その状況によって臨時休業・登校時刻の変更・早期集団下校等を実施する。  
③生徒連絡網は平素から確認しておくこと。  
④校舎警備及び物品の撤出は、防火対策の場合に準じて実施すること。  
⑤硝子の破損を考慮して、窓から遠ざかること。

## 防火管理規定

### 1. 目的

この規定は、学校における防火管理の徹底をはかり、火災その他の災害を防止し、軽減することを目的とする。

### 2. 防火管理

- ①防火管理の組織・任務編成は、別表2・3の示す通りである。
- ②消防計画は、人員の異動等変更の都度更新して消防署に提出する。
- ③建物内では、みだりに火を使用しない。
- ④学校敷地内では、一切喫煙してはならない。
- ⑤火災警報が発令された場合は、火気の使用を制限する。

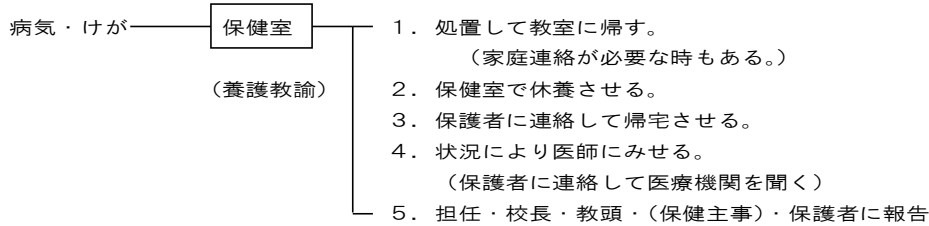
### 3. 防火防衛

- ①自衛消防隊の組織は、別表3の示す通りである。
- ②自衛消防訓練は、年間2回以上実施する。
- ③訓練の実施計画書は、その都度立案する。

### 4. その他

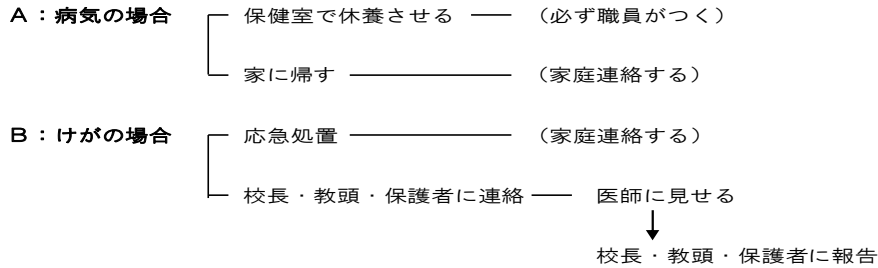
防火管理者は、消防署と十分に連絡をとり、防火管理の万全を期すること。

## 事故発生時の取り扱い及び処理について

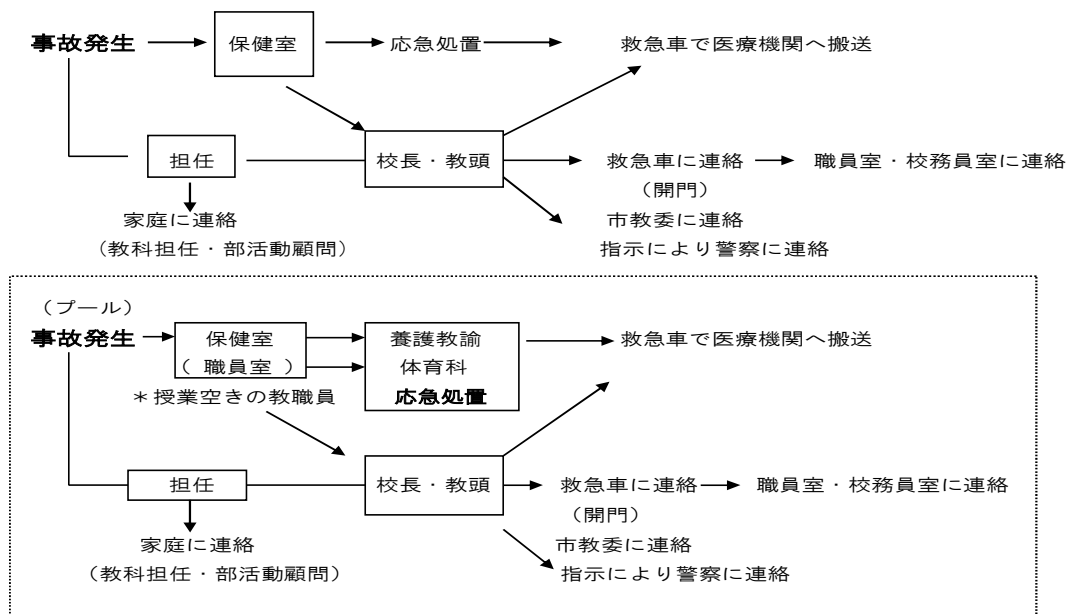


## 養護教諭不在の場合の取り扱い及び処理について

職員室にいる教師や校長・教頭に連絡することとし、その連絡を受けた教師が協力して生徒の対応をする。



## 学校災害時における救急体制



## 環境整備

### 【目標】

1. 美しい環境づくりをめざす
2. 校内清掃活動への取り組み

### 活動計画

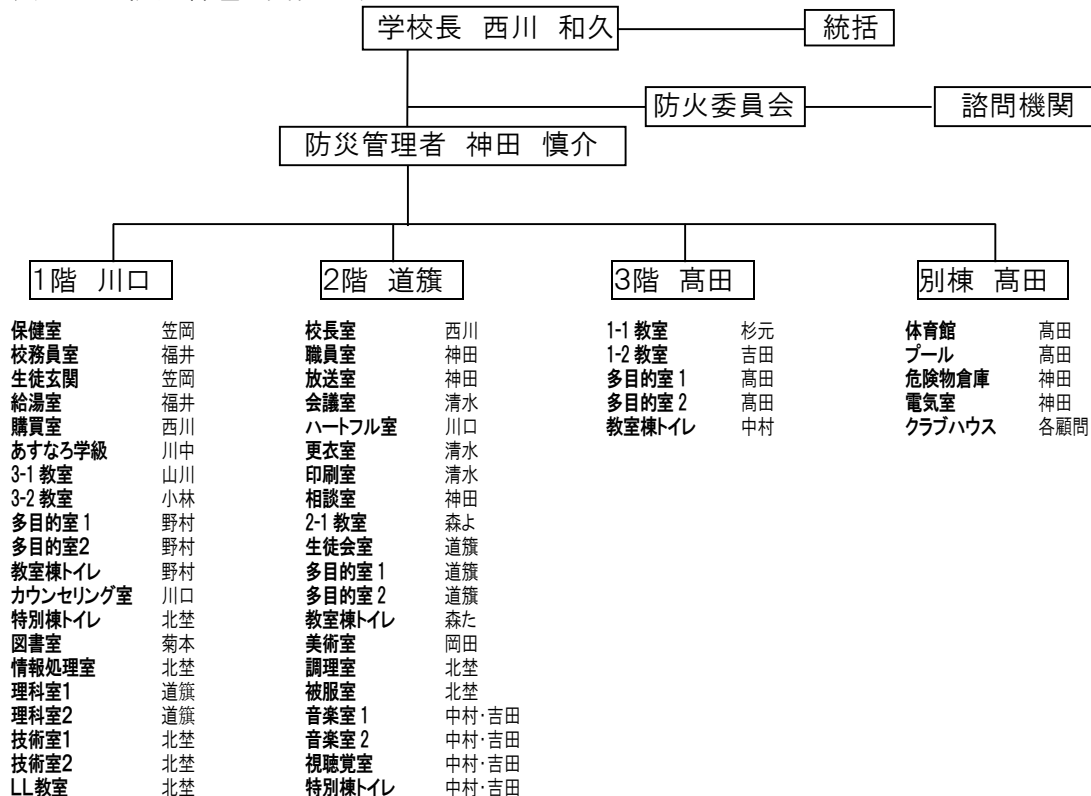
学期	管理面	活動面
1	必要清掃用具の点検準備 各学年ごとで営繕活動	安全点検 大掃除準備と教室のワックスかけ準備
2	清掃用具の点検と修理 必要清掃備品の購入計画(後期分) 各学年ごとでの営繕活動	安全点検 校内清掃への取り組み 大掃除準備
3	清掃用具の点検・準備 新学年のために教室点検と修理 各学年ごとでの営繕活動 必要清掃備品の購入計画(前期分)	卒業式前日と後の特別清掃分担 安全点検 年度末大掃除準備と教室のワックスかけ



表1

防火対象物概要			
名称	河内長野市立美加の台中学校	管理権原者	校長 西川 和久
所在地	大阪府河内長野市美加の台7-2-1	電話	0721(63)7878
収容人員	280人	生徒	150人(男80 女70) 職員 27人(男14 女13)
業態	中学校		
職階			氏名
防火管理者	教頭	神田 慎介	
防火責任者	教諭 防災担当者	笠岡 亜矢子	
防火責任者	教諭 1年学年代表	高田 学	
防火責任者	教諭 2年学年代表	道旗 雅美	
防火責任者	教諭 3年学年代表	川口 賢	
敷地面積	34,235平方米		
主要建物の状況	用途	構造	建築面積
	校舎	鉄筋コンクリート3階建	4,116平方米
	延面積		5,621平方米
体育館	鉄筋コンクリート	1,225平方米	1,225平方米
危険物・高圧ガス等の状況	危険物倉庫 電気室		

表2 防火管理の責任区域



# 気象警報発令時ならびに大規模地震発生時の対応について

## 1. 気象警報(暴風・大雨・洪水及び特別警報)発令時の対応について

### 午前7時の段階で

#### 河内長野市に

暴風警報・大雨警報・洪水警報または特別警報のいずれかが発令されている場合



自宅待機

### 午前7時～10時の間に

#### 河内長野市の

暴風警報・大雨警報・洪水警報または特別警報のすべてが解除された場合



解除から1時間後に授業を開始するので、安全を確認の上登校

### 午前10時の段階で

#### 河内長野市に

暴風警報・大雨警報・洪水警報または特別警報のいずれかが引き続き発令されている場合



臨時休校

### 上記時間帯以外

#### 在校中

生徒の在校中に河内長野市に暴風・大雨・洪水及び特別警報のいずれかが発令された時は、学校で待機し、雨や風の状況を確認して下校します。状況によっては、緊急に授業を打ち切り、下校を開始する場合もあります。

#### その他

通学路等、近隣の状況で危険が予測される時は自宅待機等、安全の確保について、各ご家庭でご判断をお願いします。同時にその状況を学校へお知らせください。また、校区の全域及び一部地域に避難勧告が発令された場合は、気象警報に準じた対応となります。

緊急連絡先 63-7878 美加の台中学校

## 2. 大規模地震発生時の対応について

### 2-1.大規模地震発生時(河内長野市で震度5弱以上)の対応について

#### 登校前

(自宅を出る前)

- 河内長野市において、前日の17時以降自宅を出る前までに「震度5強以上」の地震が発生した場合、学校は臨時休校とします。
- 通学路や学校に危険がなく授業ができる状況にある場合は、休校日の翌日より授業を行います。

#### 登校・下校途中の場合

(自宅から学校の間)

- もし登下校の途中に地震が起きた場合は、原則として帰宅します。
- ※ただし、学校に近い場合または危険が伴い自宅に帰れない場合は学校に登校し、保護者の迎えが来るまで待機します。

#### 在校中

(学校にいる時)

- 授業を打ち切り、避難します。
- 生徒は保護者の方の迎えが来るまで学校で待機します。

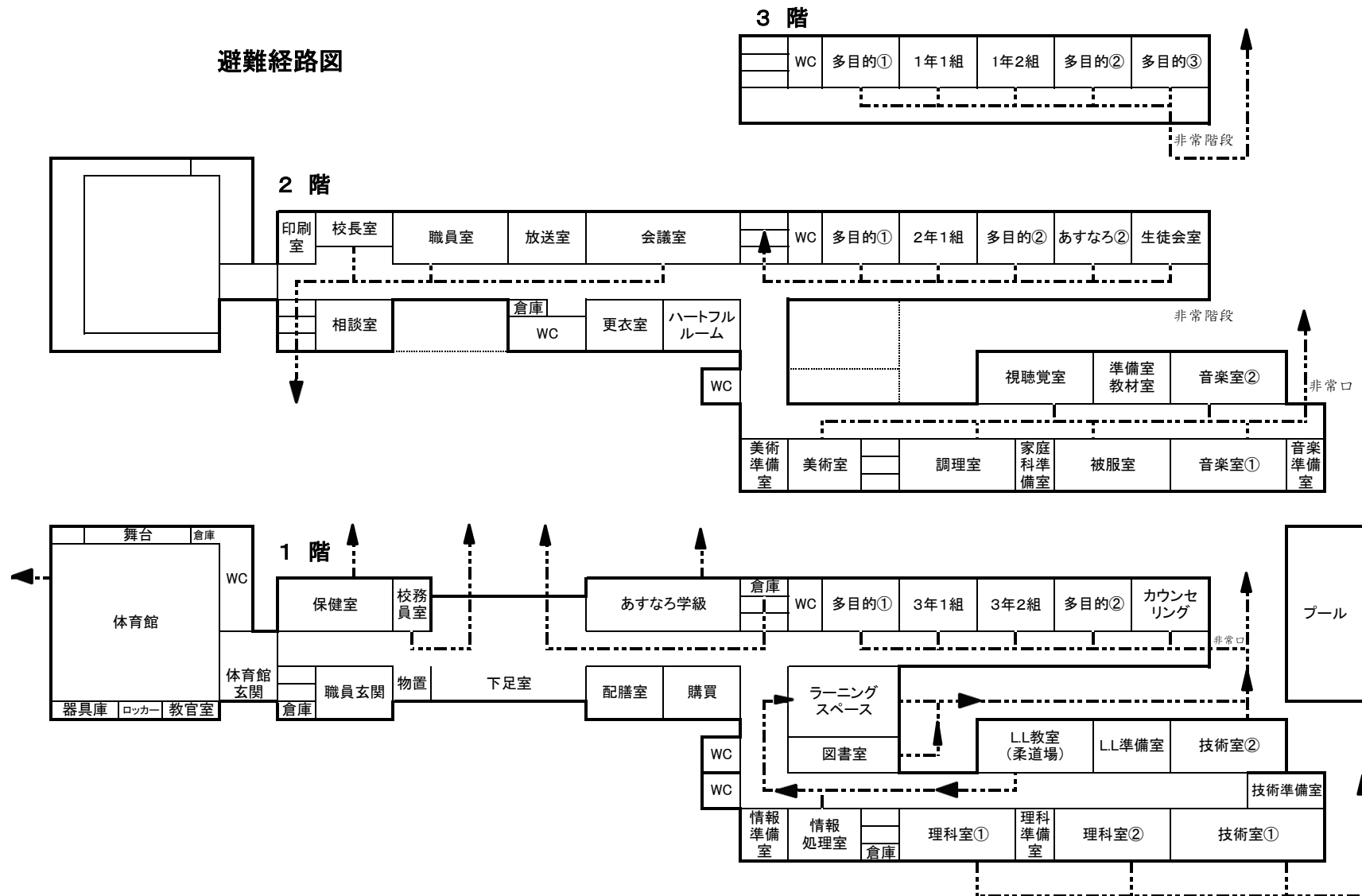
### 2-2.大規模地震発生時(河内長野市で震度4以下)の対応について

○「震度4以下」の地震が発生した場合は、まず校区内の被災状況等、安全を確認した上で、問題がなければ通常どおり登校させてください。

## 3. お願い

- 家庭に連絡がつかない場合がありますので、緊急時の連絡先や下校先を担任に連絡しておいてください。
- 下校後は、外出をさせないように十分ご注意ください。
- 家庭におかれましても、日頃よりお子様と緊急時の下校先や避難先について、十分に話し合っておいてください。
- ★この対応は、あくまでも原則であり、緊急時には円滑に対応できないことが予想されます。その場合は、学校としては生徒の安全を最優先に対応しますので、家庭におかれましてもよろしくお願いします。
- ★自宅待機中や臨時休校時時には、美加の台中学校ホームページを緊急情報モードに切り替え、随時連絡を行うので確認をお願いします。

# 避難経路図



# 小中一貫推進部

## 目標

9年間を見通した系統的な学習指導や生徒指導、人権教育のありかた等について、共に考えながら、小中学校間の段差の解消及びスムーズな接続に努める。

## 各係の業務

### 小中一貫コーディネータ

- ①義務教育学校化に向けた小中一貫教育の推進
- ②小中一貫教育推進会議

### 美加の台学園祭実行委員

- ①美加の台学園祭の企画・運営
- ②美加の台学園祭実行委員会への出席

### その他に関わる教員

- 教務主任
- 生徒指導主事
- 人権教育係

## 美加の台学園校区で共通にめざす子ども像

『心豊かに たくましく きらり輝く 美加の台っ子』

## 内容

### 小中一貫推進会議(毎月)

小中の生徒指導関係の情報交換、関係行事の内容交換及び調整他。

### 美加の台学園祭実行委員会(毎月)

美加の台学園祭の内容や取り組みの決定、小学校や地域との連絡・調整・情報交換。

### 小中生徒指導連絡会(6月)

小学校の旧6年担任が中学1年生の授業を参観し、その後、学習面や生活面などの情報を交換。

### 校区人研研修会(6月、1月)

小学校教員による中学校参観、中学校教員による小学校参観、人権教育に関する研修

### 小学6年生による中学校体験入学(7月)

小学生の中学校での授業体験と部活動体験

### 小中合同研修会(8月)

人権研修、授業改善の取り組み・プログラミング的思考、義務教育学校化に向けた小学校との連携

### 小中生徒指導連絡会(3月)

小学校を卒業した児童の情報の引き継ぎ

### 地域教育協議会・はぐみネット(毎学期)

地域との情報交換、中学校の取り組みや生徒の様子への報告

### 地域行事への参加

美加の台夏祭りなどの地域行事への参加、PTA 小中ふれあい行事への協力

## 学年指導部

### 1年の学年目標

ありがとうで溢れる幸せな学年にしよう！  
「目と耳と心で聴こう」

### 2年の学年目標

みんなが成長できる学年にしよう。  
みんなが成長していくために「協力」を。

### 3年の学年目標

自分を大切に！仲間を大切に！  
そして、みんなが成長できる学年にしよう！  
「団・弾・段そして断」正しい判断の勇氣

## 各部・系の業務

### 学年指導部

- ①学年指導全般に関する業務
- ②宿泊行事・校外学習の企画・運営
- ③評価振り返りプリントの作成

### 時間割係

- ①日々の時間割表の変更
- ②補欠時間割の作成

### 成績処理係

- ①テスト範囲表の作成
- ②テスト問題のサーバへの保管
- ③テスト成績通知表の作成

### 道徳教育係

- ①道徳教育の年間指導計画の作成
- ②資料・教材・指導案の準備・作成・保管

### 人権教育係

- ①人権教育の年間指導計画の作成
- ②資料・教材・指導案の準備・作成・保管

## 庶務部

## 各系の業務

### 学籍係

- ①転出・転入の手続き・月例報告

### 学校日誌係

- ①学校日誌の記入と保管

### 出勤簿・各種届係

- ①出勤簿・年休届等教職員の服務文書の作成・整理

### 出席簿係

- ①出席簿の点検

### 備品・消耗品係

- ①備品管理・備品台帳の作成・保管
- ②消耗品の調達

### 公文書係

- ①公文書の整理・管理

### 教科書・補助教材係

- ①教科用図書給与事務手続き
- ②補助教材の発注・まとめ

### 就学援助係

- ①就学援助事務手続き

### 会計係・学年会計係

- ①市費・PTA・各種助成金の執行
- ②会計予算・決算の作成

### 営繕・修繕係

- ①施設の営繕・修繕要望事務手続き

### 広報係

- ①校内掲示物の掲示・管理
- ②学校だよりの発行

# 各委員会

## 企画委員会

○職員会議前の連絡・調整  
校長  
教頭  
教務主任  
学年主任  
生徒指導主事  
保健主事  
特活指導部長  
小中一貫コーディネータ

## 進路委員会

○進路指導・キャリア教育の推進  
校長  
教頭  
教務主任  
学年主任  
進路指導主事  
3年職員  
支援学級担任

## 道徳教育推進委員会

○道徳教育の推進  
○道徳学習の進捗状況の確認  
校長  
教頭  
教務主任  
道徳教育推進委員  
学年道徳教育係

## 人権教育推進委員会

○人権教育の推進  
校長  
教頭  
教務主任  
人権教育推進委員  
学年人権教育係

## 体育大会運営委員会

○体育大会の企画・運営  
校長  
教頭  
特活指導部長  
生徒会本部指導部  
体育委員会指導部  
体育大会運営委員  
保健体育科

## 生徒指導連絡会

○生徒指導の推進  
校長  
教頭  
生徒指導主事  
学年生指  
養護教諭  
スクールカウンセラー  
ハートフルアシスタント  
小生指担当

## いじめ不登校対策委員会

○いじめ不登校対策  
校長  
教頭  
生徒指導主事  
いじめ不登校支援コーディネータ  
道徳教育係  
人権教育係  
学年生指  
養護教諭

## 支援教育委員会

○支援教育の推進  
校長  
教頭  
生徒指導主事  
支援教育コーディネータ  
学年生指  
支援学級担任

## 学校保健委員会

○健康教育の推進  
校長  
教頭  
保健主事  
養護教諭  
学校医  
学校歯科医  
学校薬剤師  
PTA代表

## 小中一貫教育推進委員会

○小中一貫教育の推進  
○義務教育学校化に向けた企画の立案  
校長  
教頭  
教務主任  
小中一貫コーディネータ

## 美加の台学園祭実行委員会

○美加の台学園祭の企画・運営  
校長  
教頭  
小中一貫コーディネータ  
美加の台学園祭実行委員  
美加の台地域各代表

## 学校評価委員会

○学校教育自己診断の立案・実施  
校長  
教頭  
教務主任  
学年主任

## 教育課程検討委員会

○教育課程についての検討  
校長  
教頭  
教務主任  
学年主任

## 宿泊行事・校外学習検討委員会

○宿泊行事・校外学習についての検討  
校長  
教頭  
教務主任  
学年主任

※3年に1回の開催、次回はR5

令和3年度 河内長野市立美加の台中学校

# 学 習 の し お り



# 通知表の成績などについて

令和3年6月

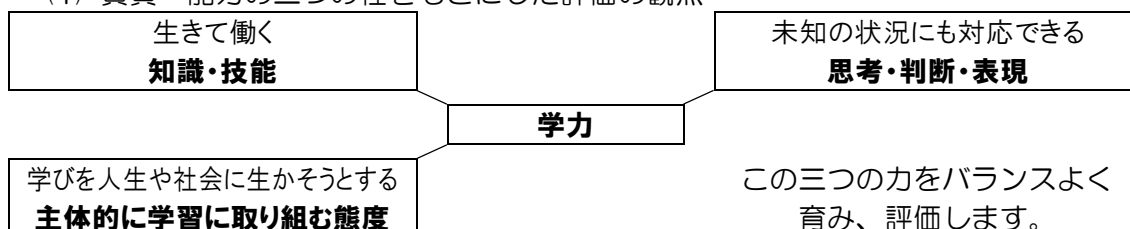
## 1.ポイント

学習指導要領の記載に従い、次のような評価を行っています。

- ★「観点別学習状況の評価」の結果を総括し「評定」を求めています。
- ★ 1・2学期の欄には、その学期の評価が記載されます。
- ★ 3学期の欄には、1年間を総括した評価が記載されます。

## 2.「学力」と「評価」

(1) 資質・能力の三つの柱をもとにした評価の観点



(2) 学習評価とは

学校における教育活動に関し、生徒の学習状況を評価するものであり、学習評価を通じて、生徒にとっては、自らの学びを振り返って、次の学びに向かうことができるようにすること、教員にとっては、児童生徒の学習の成果を捉え、指導の改善を図ることが重要であり、児童生徒は学習改善、教員は授業改善につながるものにしていくこととされています。

## 3. 評価のための資料

- a. 日常の取組 ○授業での取組—ノートなどへの書きこみ、発言、チームワークなど。  
○家庭での取組—課題への取組の状況など。
- b. テスト ○中間テスト、期末テスト、実力テスト、授業等で行う実技テスト。  
・これらの資料をもとに観点別学習状況の評価が行われます。定期テストだけで成績は決まりません。  
・忘れ物をする、未提出の課題がある、授業欠席が多いなどの場合、正当な評価がつけられなくなります。

※各教科の学習内容および評価の方法については、このしおりに記載していますので、ご確認ください。

## 4. 観点別学習状況の評価

各教科の目標や内容に照らして学習状況进行评估するもの

- A**・・・十分達成できていると判断されるもの
- B**・・・おおむね達成できていると判断されるもの
- C**・・・努力を要すると判断されるもの

※「観点別学習状況の評価」のA、Bのそれぞれには一定の規準があります。この規準は、教科はもちろん、単元や内容のまとまりごとでも違いがあります。このため、すべての教科や単元などで同じようにがんばっても、出てくる評価が異なる場合があります。各教科の授業などで、どのように評価されるのかをしっかりと確認するようにしましょう。



## 5. 評定

各教科の観点別学習状況の評価を総括したもの

5. 十分達成できていると判断されるもののうち、特に程度の高いもの
4. 十分達成できていると判断されるもの
3. おおむね達成できていると判断されるもの
2. 努力を要すると判断されるもの
1. 一層努力を要すると判断されるもの

A	5
	4
B	3
C	2
	1

観点別評価と評定の関係のイメージ

## 6. 評価の活用

通知表は、評価を見て一喜一憂するものではありません。通知表の評価から自分の課題を認知し、今後どう生かしていくかを考えるためのものです。テストの成績がよかったにもかかわらず、評定がふるわなかった場合は、テスト以外の取り組みに問題があったのかもしれない。授業などで示された課題に指示通り取り組んでいたか、振り返ってみましょう。

懇談などで、担任の先生や教科担当の先生から助言が得られる場合があります。自分の課題をしっかりと確認し、次の学期や年度に良い形でつなげられるようにしましょう。

## 7. 「和」(総合的学習の時間)の記録

学習活動や学校行事を通して、「よりよく問題を解決する資質や能力」、「学び方やものの考え方」、「主体的、創造的、協働的に取り組む態度」及び「自己の生き方」などについて、特に優れた点や成長した点を文章表記で評価しています。

## 8. 特別の教科 道徳の記録

道徳的諸価値についての理解を基に、「自己を見つめ、物事を広い視野から多面的・多角的に考え、人間としての生き方についての考えを深める学習」を通して、「道徳的な判断力」、「心情」、「実践意欲と態度」について、特に優れた点や成長した点を文章表記で評価します。

## 9. 特別活動の記録

生徒会・委員会・学級・その他で務めた係・委員会などのほか、所属した部活動を記載します。

## 10. 出席等の記録

出席・欠席等の日数、遅刻・早退の回数を記録しています。

# 国語科

## この教科の見方・考え方

学習の中で、対象と言葉、言葉と言葉との関係を、言葉の意味、働き、使い方等に着目して捉えたり問い直したりして、言葉への自覚を高めること

## この教科の学習目標（評価の観点）

### ①知識及び技能

社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

#### 評価規準

○社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使っている。

#### 評価の方法

定期・実力テスト  
小テスト・暗唱  
ワークシートへの記入内容

### ②思考力・判断力・表現力

社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。

#### 評価規準

○「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。

#### 評価の方法

定期・実力テスト  
小テスト  
ワークシートへの記入内容

### ③主体的に学習に取り組む態度

言葉がもつ価値を認識するとともに、言語感覚を豊かにし、我が国の言語文化に関わり、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

#### 評価規準

○言葉を通じて積極的に人と関わったり、思いや考えを深めたりしながら、言葉がもつ価値を認識しようとしているとともに、言語感覚を豊かにし、言葉を適切に使おうとしている。

#### 評価の方法

提出課題の完成度・記入内容

## この教科の学習を進めるために必要な持ち物

### 1年生

教科書  
ノート  
副教材ワーク・プリント

### 2年生

教科書  
ノート  
副教材ワーク・プリント

### 3年生

教科書  
ノート  
副教材ワーク・プリント



# 各学年の学習内容

## 1年生

### 1学期

- 「朝のルー」(2)
- 「野原はうたう」(1)
- 声を届ける(1)
- 書き留める(1)
- 言葉を調べる(2)
- 「シンジュン」(5)
- 「聞く」情報を的確に聞き取る(2)
- 情報を整理して書こう(5)
- 「ダイコンは大きな根?」(3)
- 「ちょっと立ち止まって」(4)
- 話の構成を工夫しよう(5)
- 「詩の世界」(4)
- 「比喩で広がる言葉の世界」(3)
- 漢字1「漢字の組み立てと部首」(2)
- 文法への扉「言葉のまとまりを考えよう」(3)
- 言葉1「指示する語句と接続する語句」(3)

### 2学期

- 「大人になれなかった弟たちに……」(5)
- 「星の花が降るころに」(6)
- 聞き上手になろう(2)
- 項目を立てて書こう(3)
- [推敲]読み手の立場に立つ(2)
- 「言葉」を持つ鳥、シジュウカラ」(5)
- 根拠を示して説明しよう(6)
- [話し合い]話し合いの展開を捉える(2)
- 話題や展開を捉えて話し合おう(5)
- 「音読を楽しもう」(2)
- 「蓬菜の玉の枝」―「竹取物語」から(5)
- 「今に生きる言葉」(3)
- 「不便」の価値を見つめ直す」(5)
- 助言を自分の文章に生かそう 作品の書評を書く(3)
- 言葉2「指示する語句と接続する語句」(2)
- 言葉2「方言と共通語」(2)
- 漢字2「漢字の音訓」(2)
- 文法への扉2「言葉の関係を考えよう」(3)

### 3学期

- 「少年の日の思い出」(6)
- 「随筆二編」(3)
- 構成や描写を工夫して書こう(5)
- 一年の学びを振り返ろう(6)
- 「さくらはなびら」(2)
- 文法への扉2「言葉の関係を考えよう」(2)
- 文法への扉3「単語の性質を見つめよう」(3)
- 言葉3「さまざまな表現技法」(2)
- 漢字3「漢字の成り立ち」(2)

## 2年生

### 1学期

- 「見えないだけ」(2)
- 「アイスプラネット」(6)
- [聞く]問いを立てながら聞く(1)
- 「枕草子」(5)
- 多様な方法で情報を集めよう(6)
- 「クマゼミ増加の原因を探る」(4)
- 魅力的な提案をしよう(5)
- 「短歌に親しむ」(5)
- 「短歌を味わう」(4)
- 「言葉の力」(2)
- 言葉を比べよう(1)
- 読書を楽しむ(2)
- 漢字1「熟語の構成」(2)
- 文法への扉1「単語をどう分ける?」(3)
- 言葉1「類義語・対義語・多義語」(2)

### 2学期

- 「盆土産」(6)
- 「字のない葉書」(6)
- 聞き上手になろう(2)
- 表現を工夫して書こう(2)
- [推敲]表現の効果を考える(2)
- 「モアイは語る―地球の未来」(6)
- 根拠の適切さを考えて書こう(3)
- [討論]異なる立場から考える(2)
- 立場を尊重して話し合おう(2)
- 「月夜の浜辺」(3)
- 「扇の的―『平家物語』から」(5)
- 「仁和寺にある法師―『徒然草』から」(6)
- 「漢詩の風景」(6)
- 言葉2「敬語」(2)
- 文法への扉2「走る。走らない。走ろうよ。」(3)
- 漢字2「同じ訓・同じ音をもつ漢字」(1)

### 3学期

- 「君は『最後の晩餐』を知っているか」(7)
- 『最後の晩餐』の新しさ(4)
- 魅力を効果的に伝えよう(4)
- 「走れメロス」(8)
- 文法への扉3「一字違いで大違い」(4)
- 言葉3「話し言葉と書き言葉」(4)
- 漢字3「送り仮名」(2)

## 3年生

### 1学期

- 「世界はうつくしいと」(2)
- 「握手」(6)
- [聞く]評価しながら聞く(2)
- 「学びて時に之を習ふ―『論語』から」(6)
- 文章の種類を選んで書こう(2)
- リオの伝説のスピーチ(2)
- 「俳句の可能性」(3)
- 「俳句を味わう」(4)
- 言葉を選ぼう もっと「伝わる」表現を目ざして(2)
- 読書を楽しむ(1)
- 「私の一冊」を探しにいこう(1)
- 漢字1「熟語の読み方」(2)
- 文法への扉1「すいかは幾つ必要?」(2)
- 言葉1「和語・漢語・外来語」(1)

### 2学期

- 「挨拶―原爆の写真によせて」(3)
- 「故郷」(6)
- 聞き上手になろう 質問で相手の思いに迫る(1)
- [推敲]論理の展開を整える(2)
- 「人工知能との未来」(2)
- 「人間と人工知能と創造性」(2)
- 多角的に分析して書こう 説得力のある表現文(2)
- [議論]話し合いを効果的に進める(1)
- 合意形成に向けて話し合おう 会議を開く(1)
- 「初恋」(3)
- 「和歌の世界」(3)
- 「古今和歌集仮名序」(3)
- 「君待つと一万葉・古今・新古今」(4)
- 「夏草―『おくのほそ道』から」(4)
- 古典名句・名言集(3)
- 「誰かの代わりに」(4)
- 情報を読み取って文章を書こう(3)
- 言葉2「慣用語・ことわざ・故事成語」(2)
- 漢字2「漢字の造語力」(1)
- 漢字3「漢字のまとめ」(1)
- 文法への扉2「『ない』の違いがわからない?」(2)

### 3学期

- 「温かいスープ」(6)
- 「わたしを束ねないで」(4)
- 三年間の歩みを振り返ろう(6)

# 社会科

## この教科の見方・考え方

**地理的分野**…社会的事象を、位置や空間的な広がりに着目して捉え、地域の環境条件や地域間の結び付きなどの地域という枠組みの中で、人間の営みと関連付けること

**歴史的分野**…社会的事象を、時期、推移などに着目して捉え、類似や差違などを明確にし、事象同士を因果関係などで関連付けること

**公民的分野**…社会的事象を、政治、法、経済などに関わる多様な視点(概念や理論など)に着目して捉え、よりよい社会の構築に向けて、課題解決のための選択・判断に資する概念や理論などと関連付けること

## この教科の学習目標（評価の観点）

### ①知識・技能

我が国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際関係等に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

#### 評価規準

○我が国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際関係等に関して理解しているとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめている。

#### 評価の方法

- ・定期テスト
- ・小テスト

### ②思考・判断・表現

社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。

#### 評価規準

○社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したり、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりしている。

#### 評価の方法

- ・定期テスト、実力テスト
- ・小テスト
- ・ワークシート

### ③主体的に学習に取り組む態度

社会的事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される我が国の国土や歴史に対する愛情、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

#### 評価規準

○社会的事象について、国家及び社会の担い手として、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとしている。

#### 評価の方法

- ・課題への書き込み
- ・ノートの内容

## この教科の学習を進めるために必要な持ち物

### 1年生

- ・教科書・地図帳
- ・ノート
- ・ワーク

### 2年生

- ・教科書・地図帳
- ・ノート
- ・ワーク

### 3年生

- ・教科書
- ・ノート
- ・ワーク



## 各学年の学習内容

### 1 年生

#### 1 学期(37)

##### 地理

- 第一部
  - ・第1章 世界の姿(5)
  - ・第2章 世界各地の人々の生活と環境(5)

##### 歴史

- 第一部
  - ・第1章 歴史の流れと時代区分(5)
  - ・第2章 歴史の調べ方(5)
    - まとめ・発表の仕方(2)
- 第二部
  - ・第1章 人類の登場から文明の発生へ(5)
  - ・第2章 東アジアの中の倭(日本)(5)
  - ・第3章 中国にならった国家づくり(5)

#### 2 学期(42)

##### 地理

- 第一部
  - ・第3章 世界の諸地域(10)

##### 歴史

- 第二部
  - ・第4章 展開する天皇・貴族の政治(10)
- 第三部
  - ・第1章 武士の世の始まり(12)
  - ・第2章 武家政権の内と外(10)

#### 3 学期(26)

##### 地理

- 第一部
  - ・第3章 世界の諸地域(4)
  - ・第4章 世界のさまざまな地域の調査(4)
- 第二部
  - ・第1章 日本の姿(4)
  - ・第2章 世界と比べた日本の地域的特色(4)

##### 歴史

- 第三部
  - ・第3章 人々の結びつきが強まる社会(4)
- 第四部
  - ・第1章 大航海によって結びつく世界(3)
  - ・第2章 戦乱から全国統一へ(3)

### 2 年生

#### 1 学期(37)

##### 地理

- 第二部
  - ・第2章 世界と比べた日本の地域的特色(6)
  - ・第3章 日本の諸地域(6)

##### 歴史

- 第三部
  - ・第2章 武家政権の内と外(6)
- 第四部
  - ・第1章 大航海によって結びつく世界(6)
  - ・第2章 戦乱から全国統一へ(6)
  - ・第3章 武士による支配の完成(7)

#### 2 学期(42)

##### 地理

- 第二部
  - ・第3章 日本の諸地域(15)

##### 歴史

- 第四部
  - ・第4章 天下泰平の世の中(15)
  - ・第5章 社会の変化と幕府の対策(12)

#### 3 学期(26)

##### 地理

- ・第3章 日本の諸地域(6)
- ・第4章 身近な地域の調査(5)

##### 歴史

- 第五部
  - ・第1章 欧米諸国における「近代化」(5)
  - ・第2章 開国と幕府の終わり(5)
  - ・第3章 新しい価値観の下で(5)

### 3 年生

#### 1 学期(48)

##### 歴史

- 第五部
  - 第4章 近代国家への歩み(5)
  - 第5章 帝国主義と日本(5)
  - 第6章 アジアの強国の光と影(5)

##### ○第六部

- ・第1章 第一次世界大戦(5)
- ・第2章 高まる民主シー(5)
- ・第3章 軍国主義と日本(5)
- ・第4章 アジアに広がる戦線(5)

##### ○第七部

- ・第1章 敗戦から立ち直る日本(5)
- ・第2章 世界の多極化(5)
- ・第3章 これからの日本と世界(3)

#### 2 学期(62)

##### 公民

- 第1編 私たちと現代社会(7)

##### 第2編 私たちの生活と政治

- 第1章 日本国憲法(15)
- 第2章 国民主権と政治(20)

##### 第3編 私たちの生活と経済(20)

#### 3 学期(30)

##### 公民

- 第4編 私たちと国際社会(20)

##### 第5編 私たちの課題(10)

# 数学科

## この教科の見方・考え方

事象を数量や図形及びそれらの関係などに着目して捉え、論理的、統合的・発展的に考えること

## この教科の学習目標（評価の観点）

### ①知識・技能

数量や図形などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。

#### 評価規準

○数量や図形などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解している。

○事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。

#### 評価の方法

・定期テスト  
・実力テスト  
・小テスト  
・レポート課題への記入内容

### ②思考・判断・表現

数学を活用して事象を論理的に考察する力、数量や図形などの性質を見だし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。

#### 評価規準

○数学を活用して事象を論理的に考察する力、数量や図形などの性質を見だし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付けている。

#### 評価の方法

・定期テスト  
・実力テスト  
・小テスト  
・レポート課題への記入内容

### ③主体的に学習に取り組む態度

数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとする態度、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度を養う。

#### 評価規準

○数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとしたり、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとしていたりしている。

#### 評価の方法

・ノートの内容  
・ワークの内容  
・レポート課題への記入内容

## この教科の学習を進めるために必要な持ち物

### 1年生

・教科書  
・ノート  
・ワーク  
・定規  
・コンパス

### 2年生

・教科書  
・ノート  
・ワーク  
・定規  
・コンパス

### 3年生

・教科書  
・ノート  
・ワーク  
・定規  
・コンパス



# 各学年の学習内容

## 1年生

- 1学期**
- ・0章 算数から数学へ
  - ・1章 正負の数
    - 1節 正負の数(3)
    - 2節 加法と減法(4)
    - 3節 乗法と除法(8)
    - 4節 正負の数の利用(10)
  - ・2章 文字と式
    - 1節 文字を使った式(8)
    - 2節 文字式の計算(6)
    - 3節 文字式の利用(4)
  - ・3章 方程式
    - 1節 方程式とその解き方(7)
    - 2節 1次方程式の利用(7)
- 2学期**
- ・4章 比例・反比例
    - 1節 関数と比例・反比例(5)
    - 2節 比例の性質と調べ方(7)
    - 3節 反比例の性質と調べ方(6)
    - 4節 比例と反比例の利用(4)
  - ・5章 平面図形
    - 1節 図形の移動(6)
    - 2節 基本の作図(8)
    - 3節 おうぎ形(3)
- 3学期**
- ・6章 空間図形
    - 1節 いろいろな立体(3)
    - 2節 立体の見方と調べ方(9)
    - 3節 立体の体積と表面積(6)
  - ・7章 資料の活用
    - 1節 データの整理と分析(5)
    - 2節 データの活用(1)
    - 3節 ことからの起こりやすさ(4)
- 数学の自由研究(13)

## 2年生

- 1学期**
- ・1章 式の計算
    - 1節 式の計算(8)
    - 2節 文字式の利用(7)
  - ・2章 連立方程式
    - 1節 連立方程式とその解き方(7)
    - 2節 連立方程式の利用(5)
  - ・3章 1次関数
    - 1節 1次関数(3)
- 2学期**
- 2節 1次関数の性質と調べ方(8)
  - 3節 2元1次方程式と1次関数(4)
  - 4節 1次関数の利用(5)
- ・4章 図形の調べ方
  - 1節 説明のしくみ(3)
  - 2節 平行線と角(5)
  - 3節 合同な図形(7)
- 3学期**
- ・5章 図形の性質と証明
    - 1節 三角形(8)
    - 2節 平行四辺形(12)
  - ・6章 確率
    - 1節 確率(6)
    - 2節 確率による説明(3)
  - ・7章 データ
    - 1節 四分位範囲と箱ひげ図(5)
- 数学の自由研究(9)

## 3年生

- 1学期**
- ・1章 式の展開と因数分解
    - 1節 多項式の計算(8)
    - 2節 因数分解(6)
    - 3節 式の計算の利用(5)
  - ・2章 平方根
    - 1節 平方根(6)
    - 2節 根号をふくむ式の計算(8)
    - 3節 平方根の利用(2)
  - ・3章 二次方程式
    - 1節 2次方程式とその解き方(10)
    - 2節 2次方程式の利用(5)
- 2学期**
- ・4章 関数  $y = ax^2$ 
    - 1節 関数  $y = ax^2$ (3)
    - 2節 関数  $y = ax^2$ の性質と調べ方(8)
    - 3節 いろいろな関数の利用(5)
  - ・5章 図形と相似
    - 1節 相似な図形(9)
    - 2節 平行線と比(8)
    - 3節 相似な図形の面積と体積(6)
  - ・6章 円の性質
    - 1節 円周角の定理(6)
    - 2節 円周角の定理の利用(4)
- 3学期**
- ・7章 三平方の定理
    - 1節 三平方の定理(4)
    - 2節 三平方の定理の利用(9)
  - ・8章 標本調査
    - 1節 標本調査(7)
- 数学の自由研究(21)

# 理科

## この教科の見方・考え方

【見方】「エネルギー」を柱とする領域 主として量的・関係的な視点で捉えること

「粒子」を柱とする領域 主として質的・実体的な視点で捉えること

「生命」を柱とする領域 主として多様性と共通性の視点で捉えること

「地球」を柱とする領域 主として時間的・空間的な視点で捉えること

【考え方】比較したり、関係付けたりするなどの科学的に探究する方法を用いて考えること

## この教科の学習目標（評価の観点）

### ①知識・技能

自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。

#### 評価規準

○自然の事物・現象についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。

#### 評価の方法

定期・実力テスト  
小テスト  
実験観察レポート・課題プリント等への記入内容

### ②思考・判断・表現

観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。

#### 評価規準

○自然の事物・現象から問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。

#### 評価の方法

定期・実力テスト  
小テスト  
実験観察レポート・課題プリント等への記入内容

### ③主体的に学習に取り組む態度

自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

#### 評価規準

○自然の事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

#### 評価の方法

実験観察レポート・課題プリント等への記入内容

## この教科の学習を進めるために必要な持ち物

### 1年生

- ①教科書
- ②ノート
- ③理科便覧

### 2年生

- ①教科書
- ②ノート
- ③理科便覧

### 3年生

- ①教科書
- ②ノート
- ③理科便覧





## 各学年の学習内容

**1年生****1学期**

自然の中にあふれる生命(7)

**[生命]いろいろな生物とその共通点**

1章 植物の特徴と分類(9)

2章 動物の特徴と分類(9)

**[粒子]身のまわりの物質**

1章 いろいろな物質とその性質(8)

**2学期****[粒子]身のまわりの物質**

2章 いろいろな気体とその性質(7)

3章 水溶液の性質(8)

4章 物質のすがたとその変化(8)

**[エネルギー]光・音・力による現象**

1章 光による現象(9)

2章 音による現象(7)

**3学期****[エネルギー]光・音・力による現象**

3章 力による現象(7)

**[地球]活きている地球**

1章 身近な大地(5)

2章 ゆれる大地(7)

3章 火をふく大地(7)

4章 語る大地(7)

**2年生****1学期****[粒子]化学変化と原子・分子**

1章 物質の成り立ち(8)

2章 物質の表し方(6)

3章 さまざまな化学変化(13)

4章 化学変化と物質の質量(8)

**[生命]****生物の体のつくりとはたらき**

1章 生物の体をつくるもの(7)

**2学期****[生命]****生物の体のつくりとはたらき**

2章 植物の体のつくりとはたらき(10)

3章 動物の体つくりとはたらき(10)

4章 動物の行動のしくみ(8)

**[地球]地球の大気と天気の変化**

1章 地球をとり巻く大気のようにす(8)

2章 大気中の水の変化(10)

3章 天気の変化と大気の動き(10)

**3学期****[地球]天気とその変化**

4章 天気の変化と日本の四季(7)

**[エネルギー]電流とその利用**

1章 電流の性質(17)

2章 電流の正体(8)

3章 電流と磁界(10)

**3年生****1学期****[粒子]化学変化とイオン**

1章 水溶液とイオン(12)

2章 電池とイオン(11)

3章 酸・アルカリと塩(12)

**[生命]生命の連続性**

1章 生物のふえ方と成長(6)

2章 遺伝の規則性と遺伝子(8)

**2学期****[生命]生命の連続性**

3章 生物の種類の多様性と進化(8)

**[エネルギー]運動とエネルギー**

1章 力の合成と分解(11)

2章 物体の運動(12)

3章 仕事とエネルギー(12)

**[地球]宇宙を観る**

1章 地球から宇宙へ(8)

2章 太陽と恒星の動き(9)

**3学期****[地球]地球と宇宙**

2章 太陽と恒星の動き(5)

3章 月と金星の動きと見え方(10)

**[環境]自然と人間**

1章 自然界のつり合い(4)

2章 さまざまな物質の利用と人間(3)

3章 科学技術の発展(4)

4章 人間と環境(3)

5章 持続可能な社会をめざして(2)

# 音楽科

## この教科の見方・考え方

音楽に対する感性を働かせ、音や音楽を、音楽を形づくっている要素とその働きの視点で捉え、自己のイメージや感情、生活や社会、伝統や文化などと関連付けること

## この教科の学習目標（評価の観点）

### ①知識・技能

曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。

#### 評価規準

○曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解している。

○創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表している。

#### 評価の方法

定期テスト  
実技テスト  
ワークシート内容

### ②思考・判断・表現

音楽表現を創意工夫することや、音楽のよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。

#### 評価規準

○音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したものと感受したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて思いや意図をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴いたりしている。

#### 評価の方法

定期テスト  
実技テスト  
ワークシート内容

### ③主体的に学習に取り組む態度

音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽を愛好する心情を育むとともに、音楽に対する感性を豊かにし、音楽に親しんでいく態度を養い、豊かな情操を培う。

#### 評価規準

○音や音楽、音楽文化に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

#### 評価の方法

定期テスト  
実技テスト  
課題内容・発言内容

## この教科の学習を進めるために必要な持ち物

### 1年生

教科書  
ファイル

### 2年生

教科書  
ファイル

### 3年生

教科書  
ファイル



## 各学年の学習内容

### 1年生

#### 1学期

- 歌声を作ろう(3)

「校歌」「市民歌」

混声三部合唱曲

- 鑑賞(2)

曲想の変化を感じ取って

聴こう

- 楽典(4)

音符や記号を覚えよう。

- 曲のまとまりやハーモニーの変化を感じ取って合唱しよう。(6)

「合唱コンクール取り組み」

- 鑑賞(2)詩の内容と曲想の変化との関わりを感じ取る

#### 2学期

- 詩や曲の雰囲気合った声で言葉を大切に歌おう(9)

「合唱コンクール取り組み」

- 鑑賞(3)

日本の伝統音楽に親しもう

・三線演奏 ・箏曲

- 歌詞を感じ取って、速度や強弱の変化を生かした表現を工夫しよう(1)

- 器楽演奏(ギター・三線)(7)

#### 3学期

- 楽典(2)

・音符や記号を覚えよう

- 鑑賞(5)

日本の民謡に親しみ、声や音楽の特徴を感じ取る

・日本の伝統音楽

- 卒業式に向けて(1)

校歌・君が代・市民歌

### 2年生

#### 1学期

- 声部の役割を生かして、表現を工夫しよう(2)

「校歌」「市民歌」

混声三部合唱曲

- 鑑賞(2)

音楽と舞台のかかわりによる表現を理解しよう

- 楽典(3)

速度や強弱の変化

- 言葉と旋律の関係を理解して表現を工夫しよう(5)

「合唱コンクール取り組み」

#### 2学期

- 鑑賞(2)

曲のしぐみに注目して名曲を楽しもう

- 曲のもつ情緒を味わいながら歌おう

「合唱コンクール取り組み」(6)

- 鑑賞(3)

日本の伝統音楽に親しもう

日本の歌曲に親しもう

- 曲の特徴を生かして表情豊かに独唱しよう(2)

- 器楽演奏(ギター)(4)

#### 3学期

- 鑑賞(3)

「世界の音楽」

- 楽典(2)

速度や強弱の変化を感じ取る

- 卒業式に向けて(1)

校歌・君が代・市民歌

### 3年生

#### 1学期

- 曲の構成や曲想の変化を感じ取って歌おう(2)

「校歌」「市民歌」

混声三部合唱曲

- 鑑賞(2)

聴き深める喜び

世界の音楽

- 楽典(2)

速度や強弱の変化

- 言葉と旋律の関係を理解して表現を工夫しよう(5)

「合唱コンクール取り組み」

#### 2学期

- 鑑賞(2)

曲のしぐみに注目して名曲を楽しもう

- 曲のもつ情緒を味わいながら歌おう

「合唱コンクール取り組み」(6)

- 鑑賞(3)

日本の伝統音楽に親しもう

- 曲の特徴を生かして表情豊かに独唱しよう(2)

- 器楽演奏(ギター)(5)

#### 3学期

- 鑑賞(3)

音楽と舞台の表現とを関連付けながら鑑賞しよう

- 楽典(2)

速度や強弱の変化を感じ取る

- 卒業式に向けて(1)

校歌・君が代・市民歌

# 美術科

## この教科の見方・考え方

感性や想像力を働かせ、対象や事象を、造形的な視点で捉え、自分としての意味や価値をつくりだすこと

## この教科の学習目標（評価の観点）

### ①知識・技能

対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。

#### 評価規準

○対象や事象を捉える造形的な視点について理解している。

○表現方法を創意工夫し、創造的に表している。

#### 評価の方法

作品  
定期テスト

### ②思考・判断・表現

造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。

#### 評価規準

○造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考えるとともに、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。

#### 評価の方法

作品  
定期テスト

### ③主体的に学習に取り組む態度

美術の創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を育み、感性を豊かにし、心豊かな生活を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

#### 評価規準

○美術の創造活動の喜びを味わい主体的に表現及び鑑賞の幅広い学習活動に取り組もうとしている。

#### 評価の方法

作品  
定期テスト  
ノート

## この教科の学習を進めるために必要な持ち物

### 1年生

教科書  
美術資料  
画材

### 2年生

教科書  
美術資料  
画材

### 3年生

教科書  
美術資料  
画材



## 各学年の学習内容

### 1年生

#### 1学期

オリエンテーション(1)  
 出会いと広がり(8)  
 ・色の広がり、色の魅力  
 巻末資料  
 ・色を学ぶ

楽しく伝える文字のデザイン(6)  
 ・書体で変わる印象

#### 2学期

世界の広がりを楽しく伝える(12)  
 一枚の絵から広がる世界  
 美しい構成と装飾  
 平面構成

形や色などの特徴や美しさに関心を  
 持つ。

文字や形で伝える(6)  
 レタリングとマークのデザインを学び、  
 作品の制作。

#### 3学期

身近なものを立体で表わそう(12)  
 鉛筆デッサン

### 2年生

#### 1学期

オリエンテーション(1)  
 ・学びの深まり  
 ・漫画表現の豊かさ(11)  
 豊かなイメージで伝える  
 アニメの歴史  
 「まとめる」と「発想」の工夫  
 イメージの変容

#### 2学期

日本の美意識  
 日本の文様(4)

光と影の見え方を学び、素描  
 を通して深くものを観察する。  
 日本の形体や材料をいかして  
 金屏風(6)

墨が生み出す豊かな世界(4)

#### 3学期

心でとらえたイメージ(9)  
 動き時間、気持ち、発想を広げよう  
 単純化や強調した形や色  
 抽象作品の制作

### 3年生

#### 1学期

オリエンテーション(1)  
 西洋美術史(3)  
 ・生活の中に生きる美術  
 ・社会に広がる美術

だまされる楽しさ(8)  
 透視図法、投影図法、錯視について  
 学ぶ  
 平面構成

#### 2学期

日本美術史(3)  
 日本の美意識  
 新鮮な見方で  
 あふれ出る躍動感  
 世界を魅了したきらめき  
 日本の伝統的な遊びや文化  
 について理解し、ジャポニスムなどに  
 ついても知る。  
 寄木細工の制作(11)

#### 3学期

暮らしを心地よくするインテリア  
 感動の共有(9)

アール・ヌーボー  
 パブリックアート、現代美術について知  
 る

# 保健体育科

## この教科の見方・考え方

**体育**…運動やスポーツを、その価値や特性に着目して、楽しさや喜びとともに体力の向上に果たす役割の視点から捉え、自己の適性等に応じた『する・みる・支える・知る』の多様な関わり方と関連付けること

**保健**…個人及び社会生活における課題や情報を、健康や安全に関する原則や概念に着目して捉え、疾病等のリスクの軽減や生活の質の向上、健康を支える環境づくりと関連付けること

## この教科の学習目標（評価の観点）

### ①知識・技能

各種の運動の特性に応じた技能等及び個人生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な技能を身に付けるようにする。

#### 評価規準

○運動の合理的な実践に関する具体的な事項や生涯にわたって運動を豊かに実践するための理論について理解しているとともに、運動の特性に応じた基本的な技能を身に付けている。また、個人生活における健康・安全について科学的に理解しているとともに、基本的な技能を身に付けている。

#### 評価の方法

実技テスト  
小テスト  
定期テスト

### ②思考・判断・表現

運動や健康についての自他の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。

#### 評価規準

○自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて、課題に応じた運動の取り組み方や目的に応じた運動の組み合わせ方を工夫しているとともに、それらを他者に伝えている。また、個人生活における健康に関する課題を発見し、その解決を目指して科学的に思考し判断しているとともに、それらを他者に伝えている。

#### 評価の方法

ゲーム中等における技能の活用力  
レポート課題等への記述の状況  
小テスト  
定期テスト

### ③主体的に学習に取り組む態度

生涯にわたって運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かな生活を営む態度を養う。

#### 評価規準

○運動の楽しさや喜びを味わうことができるよう、運動の合理的な実践に主体的に取り組もうとしている。また、健康を大切にし、自他の健康の保持増進や回復についての学習に主体的に取り組もうとしている。

#### 評価の方法

授業点(遅刻・忘れ物・授業態度)  
学習カードへの記述の状況  
保健学習ノート1～3年、保健体育授業用ノートの提出状況

## この教科の学習を進めるために必要な持ち物

### 1年生

【教室で授業をする場合】

筆記用具  
中学保健体育  
図解中学体育  
保健学習ノート1～3年  
保健体育授業用ノート  
チャレンジカード

【運動場・体育館等で授業をする場合】

体操服(4月は夏用・冬用体操服のどちらでもかまいません。冬用体操服を着る場合は冬用の下に夏用体操服を必ず着ておきましょう。5月からは夏用体操服で行います)  
運動靴  
体育館シューズ  
単元に必要なもの(水着など)

### 2年生

【教室で授業をする場合】

筆記用具  
新 中学校保健体育  
図解中学体育  
保健学習ノート1～3年  
保健体育授業用ノート  
チャレンジカード

【運動場・体育館等で授業をする場合】

体操服(4月は夏用・冬用体操服のどちらでもかまいません。冬用体操服を着る場合は冬用の下に夏用体操服を必ず着ておきましょう。5月からは夏用体操服で行います)  
運動靴  
体育館シューズ  
単元に必要なもの(水着など)

### 3年生

【教室で授業をする場合】

筆記用具  
新 中学校保健体育  
図解中学体育  
保健学習ノート1～3年  
保健体育授業用ノート  
チャレンジカード

【運動場・体育館等で授業をする場合】

体操服(4月は夏用・冬用体操服のどちらでもかまいません。冬用体操服を着る場合は冬用の下に夏用体操服を必ず着ておきましょう。5月からは夏用体操服で行います)  
運動靴  
体育館シューズ  
単元に必要なもの(水着など)



## 各学年の学習内容

### 1 年生

1 学期  
【男子】  
体づくり運動【10】  
・集団行動、ラジオ体操第二、スポーツテストの練習含む  
ダンス【10】  
・現代的なリズムのダンス  
水泳【12】  
【女子】  
体づくり運動【10】  
・集団行動、ラジオ体操第二、スポーツテストの練習含む  
球技【10】  
水泳【12】  
2 学期  
【男子】  
陸上競技【12】  
・短距離走、リレー、体育大会の種目練習含む  
球技【10】  
武道【10】  
・柔道  
陸上競技【6】  
・長距離走  
【女子】  
陸上競技【12】  
・短距離走、リレー、体育大会の種目練習含む  
武道【10】  
・柔道  
器械運動【10】  
・跳び箱運動  
陸上競技【6】  
・長距離走  
3 学期  
【男子】  
器械運動【10】  
・跳び箱運動  
球技【10】  
【女子】  
ダンス【10】  
球技【10】  
通年  
【保健】  
スポーツの多様性【3】  
健康な生活と病気の予防【4】  
心身の発達と心の健康【8】

### 2 年生

1 学期  
【男子】  
体づくり運動【10】  
・集団行動、ラジオ体操第二、スポーツテストの練習含む  
ダンス【10】  
・現代的なリズムのダンス  
水泳【12】  
【女子】  
体づくり運動【10】  
・集団行動、ラジオ体操第二、スポーツテストの練習含む  
球技【10】  
水泳【12】  
2 学期  
【男子】  
陸上競技【12】  
・短距離走、リレー、体育大会の種目練習含む  
球技【10】  
武道【10】  
・柔道  
陸上競技【6】  
・長距離走  
【女子】  
陸上競技【12】  
・短距離走、リレー、体育大会の種目練習含む  
武道【10】  
・柔道  
器械運動【10】  
・跳び箱運動  
陸上競技【6】  
・長距離走  
3 学期  
【男子】  
器械運動【10】  
・跳び箱運動  
球技【10】  
【女子】  
ダンス【10】  
球技【10】  
通年  
【保健】  
スポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方【3】  
健康な生活と病気の予防【6】  
傷害の防止【6】

### 3 年生

1 学期  
【男子】  
体づくり運動【10】  
・集団行動、ラジオ体操第二、スポーツテストの練習含む  
ダンス【10】  
・現代的なリズムのダンス  
水泳【12】  
【女子】  
体づくり運動【10】  
・集団行動、ラジオ体操第二、スポーツテストの練習含む  
球技【10】  
水泳【12】  
2 学期  
【男子】  
陸上競技【12】  
・短距離走、リレー、体育大会の種目練習含む  
球技【10】  
武道【10】  
・柔道  
陸上競技【6】  
・長距離走  
【女子】  
陸上競技【12】  
・短距離走、リレー、体育大会の種目練習含む  
武道【10】  
・柔道  
器械運動【10】  
・跳び箱運動  
陸上競技【6】  
・長距離走  
3 学期  
【男子】  
器械運動【10】  
・跳び箱運動  
球技【11】  
【女子】  
ダンス【10】  
球技【11】  
通年  
【保健】  
文化としてのスポーツ【3】  
健康な生活と病気の予防【4】  
健康と環境【7】

# 技術・家庭科

## この教科の見方・考え方

**技術分野**…生活や社会における事象を、技術との関わり方の視点で捉え、社会からの要求、安全性、環境負荷や経済性等に着目して技術を最適化すること

**家庭分野**…家族や家庭、衣食住、消費や環境などに係る生活事象を、協力・協働、健康・快適・安全、生活文化の継承・創造、持続可能な社会の構築等の視点で捉え、よりよい生活を営むために工夫すること

## この教科の学習目標（評価の観点）

### ①知識・技能

生活と技術についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。

#### 評価規準

○生活や社会で利用されている技術について理解しているとともに、それらに係る技能を身に付け、技術と生活や社会・環境との関わりについて理解している。

○家族・家庭の基本的な機能について理解を深め、生活の自立に必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて理解しているとともに、それらに係る技能を身に付けている。

#### 評価の方法

技術分野	家庭分野
期末テスト	期末テスト
プリントの貼り方	作品のできばえ
実習の実技技能	

### ②思考・判断・表現

生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなど、課題を解決する力を養う。

#### 評価規準

○生活や社会の中から技術に関わる問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。

○これからの生活を展望し、家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。

#### 評価の方法

技術分野	家庭分野
実習カードのコメント	プリントの書き込み内容
	レポートの内容

### ③主体的に学習に取り組む態度

よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。

#### 評価規準

○よりよい生活や持続可能な社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、技術を工夫し創造しようとしている。

○家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。

#### 評価の方法

技術分野	家庭分野
実習課題の試行・記録	実習への参加・記録
	プリントへの書き込み

## この教科の学習を進めるために必要な持ち物

### 1年生

技術分野	家庭分野
教科書	教科書
ノート	ファイル
実習カード	プリント

### 2年生

技術分野	家庭分野
教科書	教科書
ノート	ファイル
実習カード	プリント

### 3年生

技術分野	家庭分野
教科書	教科書
ノート	ファイル
実習カード	プリント





## 各学年の学習内容

### 1年生

#### 1学期

##### 技術分野

###### B 生物育成の技術

・生活や社会を支える生物育成の技術(8)

###### A 材料と加工の技術

・生活や社会を支える材料と加工の技術(7)

##### 家庭分野

###### A 家族・家庭生活

・自分の成長と家族・家庭生活(4)

###### B 衣食住の生活

・食事の役割と中学生の栄養の特徴(4)

・中学生に必要な栄養を満たす食事(5)

#### 2学期

##### 技術分野

###### A 材料と加工の技術

・社会の発展と材料と加工の技術(2)

###### B 生物育成の技術

・生物育成の技術による問題の解決(6)

・社会の発展と生物育成の技術(2)

##### 家庭分野

###### B 衣食住の生活

・日常食の調理と地域の食文化(15)

#### 3学期

##### 技術分野

###### A 材料と加工の技術

・材料と加工の技術による問題の解決(10)

##### 家庭分野

###### C 消費生活・環境

・金銭の管理と購入(7)

### 2年生

#### 1学期

##### 技術分野

###### D 情報の技術

・生活や社会を支える情報の技術(3)  
・ネットワークを利用した双方向性のあるコンテンツのプログラミングによる問題の解決(10)

##### 家庭分野

###### B 衣食住の生活

・衣服の選択と手入れ(5)

・生活を豊かにするための布を用いた製作(5)

・衣食住の生活についての課題と実践(5)

#### 2学期

##### 技術分野

###### C エネルギー変換の技術

・生活や社会を支えるエネルギー変換の技術(2)

・社会の発展とエネルギー変換の技術(2)

・エネルギー変換の技術による問題の解決(8)

##### 家庭分野

###### B 衣食住の生活

・住居の機能と安全な住まい方(9)

###### A 家族・家庭生活

・家族・家庭や地域との関わり(6)

#### 3学期

##### 技術分野

###### D 情報の技術

・計測・制御のプログラミングによる問題の解決(10)

##### 家庭分野

###### C 消費生活・環境

・消費者の権利と責任(5)

### 3年生

#### 1学期

##### 技術分野

###### D 情報の技術

・社会の発展と情報の技術(4)

##### 家庭分野

###### A 家族・家庭生活

・幼児の生活と家族(7)

#### 2・3学期

##### 技術分野

###### D 情報の技術

・統合的な問題の解決(14)

##### 家庭分野

###### A 家族・家庭生活

・幼児の生活についての課題と実践(10)

# 英語科

## この教科の見方・考え方

外国語で表現し伝え合うため、外国語やその背景にある文化を、社会や世界、他者との関わりに着目して捉え、コミュニケーションを行う目的や場面、状況等に応じて、情報を整理しながら考えなどを形成し、再構築すること

## この教科の学習目標（評価の観点）

### ①知識・技能

英語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどを理解するとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けるようにする。

#### 評価規準

○外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどを理解している。

○外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けている。

#### 評価の方法

- ・定期テスト・小テスト
- ・発表への取り組み

### ②思考・判断・表現

コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、英語で簡単な情報や考えなどを理解したり、これらを活用して表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。

#### 評価規準

○コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で簡単な情報や考えなどを理解したり、これらを活用して表現したり伝え合ったりしている。

#### 評価の方法

- ・定期テスト・小テスト
- ・課題への書き込み
- ・発表への取り組み

### ③主体的に学習に取り組む態度

英語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

#### 評価規準

○外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。

#### 評価の方法

- ・課題への書き込み
- ・発表への取り組み

## この教科の学習を進めるために必要な持ち物

### 1年生

教科書  
ノート  
エイゴラボ  
聞きトレファイル

### 2年生

教科書  
ノート  
めきめき English(単トレ)  
ファイル

### 3年生

教科書  
ノート  
めきめき English(単トレ)  
ファイル  
3年間の総まとめ問題集



## 各学年の学習内容

### 1年生

#### 1学期

アルファベット(3)  
自己紹介(3)  
be 動詞(10)  
一般動詞(10)  
疑問詞(10)  
複数形(5)  
助動詞(can)(5)  
スピーチ(4)  
買い物(2)

#### 2学期

This is～That is～(5)  
代名詞(10)  
命令文(5)  
一般動詞(3人称単数現在)(10)  
疑問文(10)  
他者紹介スピーチ(5)  
道案内(4)  
数字、順番、日付の言い方(3)

#### 3学期

人や物の存在(there is, there are)(3)  
一般動詞(過去)(8)  
進行形(5)  
be 動詞(過去)(8)  
読み物教材(4)  
スピーチ(4)  
インタビュー(4)

### 2年生

#### 1学期

未来形(be going to, will)(6)  
接続詞(when, if)(6)  
接続詞(that)(6)  
助動詞(must, have to)(6)  
天気予報と予定(4)  
不定詞①～すること(4)  
不定詞②～するために(4)  
不定詞③～するための、すべき(4)  
動名詞(4)  
スピーチ(4)  
読み物(4)

#### 2学期

比較級(10)  
最上級(10)  
as～as...(6)  
how to ～(6)  
look, become, +形容詞(6)  
第4文型(give, buy)(6)  
レストランでの注文(8)

#### 3学期

受身形(現在・過去)(8)  
現在完了形(8)  
現在完了進行形(8)  
スピーチ(8)  
読み物(4)

### 3年生

#### 1学期

ask(tell/want)～(人)to...(6)  
不定詞(it～ for～ to...)(6)  
主語+be 動詞+形容詞+that～(6).  
ディベート(6)  
間接疑問文(6)  
道案内(4)  
SVOC(6)  
使役動詞(6)  
読み物(6)

#### 2学期

後置修飾  
・現在分詞(8)  
・過去分詞(8)  
関係代名詞  
・主格(10)  
・目的格(10)  
ディスカッション(10)  
アナウンス(6)

#### 3学期

仮定法過去(10)  
I wish～(8)  
読み物(8)  
卒業に向けて(ライティング)(5)  
3年間の総まとめ(5)

# 特別の教科 道徳

## この教科の見方・考え方

様々な事象を、道徳的諸価値の理解を基に自己との関わりで広い視野から多面的・多角的に捉え、自己の人間としての生き方について考えること

## この教科の学習内容

### A自分自身に関する こと

・自主、自律、自由と責任  
・節度、節制  
・向上心、個性の伸長  
・希望と勇氣、克己と強い意志  
・真理の探究、創造

### B人との関わりに関 すること

・思いやり、感謝  
・礼儀  
・友情、信頼  
・相互理解、寛容

### C集団や社会との関わりに関するこ と

・遵法精神、公徳心  
・公正、公平、社会正義  
・社会参画、公共の精神  
・勤労  
・家族愛、家庭生活の充実  
・よりよい学校生活、集団生活の充実  
・郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度  
・我が国の伝統と文化の尊重、国を愛する態度  
・国際理解、国際貢献

### D生命や自然、崇高 なものとの関わり に関すること

・生命の尊さ  
・自然愛護  
・感動、畏敬の念  
・よりよく生きる喜び

## この教科の学習を進めるために使用する持ち物

### 1年生

教科書  
道徳ノート  
道徳ファイル

### 2年生

教科書  
道徳ノート  
道徳ファイル

### 3年生

教科書  
道徳ノート  
道徳ファイル

## 各教科と道徳的内容とのつながり

### 国語科

伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛することなどにつながる。

### 社会科

伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛することなどにつながる。

### 数学科

工夫して生活や学習をしようとする態度を育てる。

### 理科

生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度の育成につながる。

### 音楽科

美しいものや崇高なものを尊重することにつながる。

### 美術科

美しいものや崇高なものを尊重する心につながる。

### 保健体育科

生活習慣の大切さを知り、自分の生活を見直すことにつながる。

### 技術・家庭科

望ましい生活習慣を身に付けるとともに、勤労の尊さや意義を理解することにつながる。また、家族への敬愛の念を深めるとともに、家庭や地域社会の一員としての自覚をもって自分の生き方を考え、生活をよりよくしようすることにつながる。

### 英語科

世界の中の日本人としての自覚をもち、国際的視野に立って、世界の平和と人類の幸福に貢献することにつながる。

# 各学年の学習内容

## 1 年生

- 1 学期  
 A(4)希望と勇氣、克己と強い意志  
 「サッカーの漫画を描きたい」  
 D(22)よりよく生きる喜び  
 「挫折から希望へ」  
 B(6)思いやり、感謝  
 「人のフリみて」  
 B(7)礼儀  
 「愛情貯金をはじめませんか」  
 C(11)公正、公平、社会正義  
 「さかなのなみだ」  
 B(8)友情、信頼  
 「近くにいた友」  
 A(3)向上心、個性の伸長  
 「トマトとメロン」  
 D(19)生命の尊さ  
 「あなたはすごい力で生まれてきた」  
 C(10)遵法精神、公徳心  
 「ふれあい直売所」  
 C(12)社会参画、公共の精神  
 「あったほうがいい？」  
 C(18)国際理解、国際貢献  
 「花火に込めた平和への願い」  
 A(2)節度、節制  
 「疾走、自転車ライダー」

## 2 学期

- B(8)友情、信頼  
 「部活の帰りに」  
 C(13)勤労  
 「私は清掃のプロになる」  
 A(1)自主、自律、自由と責任  
 「二人の約束」  
 C(15)よりよい学校生活、集団生活の充実  
 「むかで競走」  
 C(10)遵法精神、公徳心  
 「使っても大丈夫？」  
 C(11)公正、公平、社会正義  
 「公平と不公平」  
 C(18)国際理解、国際貢献  
 「違いを乗り越えて」  
 D(19)生命の尊さ  
 「あふれる愛」  
 C(12)社会参画、公共の精神  
 「富士山から変えていく」  
 D(20)自然愛護  
 「木の声を聞く」  
 D(21)感動、畏敬の念  
 「オーロラー光のカーテンー」  
 C(14)家族愛、家庭生活の充実  
 「家族と支え合うなかで」  
 C(16)郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度  
 「震災を乗り越えて一復活した郷土芸能ー」  
 C(17)我が国の伝統と文化の尊重、国を愛する態度  
 「奈良筆に生きる」

## 3 学期

- D(19)生命の尊さ  
 「ゆうへー生きていくてありがたー」  
 A(1)自主、自律、自由と責任  
 「裏庭でのできごと」  
 B(8)友情、信頼  
 「旗」  
 B(9)相互理解、寛容  
 「自分だけ「余り」になってしまう……」  
 C(16)郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度  
 「篠崎街道」  
 C(13)勤労  
 「役に立つことができるかな」  
 A(4)希望と勇氣、克己と強い意志  
 「小惑星探査機「はやぶさ」の挑戦」  
 A(5)真理の探究、創造  
 「緑のじゅうたん」  
 D(22)よりよく生きる喜び  
 「いつわりのバイオリン」

## 2 年生

- 1 学期  
 D(22)よりよく生きる喜び  
 「自分の弱さと闘え」  
 C(13)勤労  
 「掃除の神様が教えてくれたこと」  
 B(7)礼儀  
 「挨拶は言葉のスキンシップ」  
 D(19)生命の尊さ  
 「最後のパートナー」  
 A(4)希望と勇氣、克己と強い意志  
 「自分をあきらめない、立ち上がった瞬間が自信になる」  
 A(1) 自主、自律、自由と責任  
 「5月の風ーカーナー」  
 B(8)友情、信頼  
 「5月の風ーミカー」  
 C(11)公正、公平、社会正義  
 「リスペクト アザース」  
 A(5)真理の探究、創造  
 「戦争を取材する」  
 C(18)国際理解、国際貢献  
 「海と空ー檜野の人々ー」  
 C(10)遵法精神、公徳心  
 「美しい鳥取砂丘」  
 C(16)郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度  
 「和樹の夏祭り」

## 2 学期

- A(1) 自主、自律、自由と責任  
 「ネット将棋」  
 D(21)感動、畏敬の念  
 「樹齢7千年の杉」  
 A(3)向上心、個性の伸長  
 「『自分』ってなんだろう」  
 C(13) 勤労  
 「小さな工場の大きな仕事」  
 D(19)生命の尊さ  
 「体験ナースをとおして」  
 C(12)社会参画、公共の精神  
 「行動する建築家 坂 茂」  
 C(17)我が国の伝統と文化の尊重、国を愛する態度  
 「さよならホストファミリー」  
 B(6)思いやり、感謝  
 「夜のくだもの屋」  
 A(4)希望と勇氣、克己と強い意志  
 「初心」  
 B(8)友情、信頼  
 「ライバル」  
 C(15)よりよい学校生活、集団生活の充実  
 「ハイタッチがくれたもの」  
 C(11)公正、公平、社会正義  
 「ヨシト」  
 B(9)相互理解、寛容  
 「コトコの涙」  
 C(10)遵法精神、公徳心  
 「オーストリアのマス川」

## 3 学期

- D(20)自然愛護  
 「よみがえれ、えりもの森」  
 C(18)国際理解、国際貢献  
 「ダショー・ニシオカ」  
 C(12)社会参画、公共の精神  
 「門掃き」  
 C(17)我が国の伝統と文化の尊重、国を愛する態度  
 「包む」  
 D(19)生命の尊さ  
 「命を見つめてー横濱蓮さんの六百四十六日ー」  
 D(22)よりよく生きる喜び  
 「足袋の季節」  
 B(8)友情、信頼  
 「恋する涙」  
 A(2)節度、節制  
 「避難所にて」  
 C(14)家族愛、家庭生活の充実  
 「きいちゃん」

## 3 年生

- 1 学期  
 A(4)希望と勇氣、克己と強い意志  
 「銀メダルから得たもの」  
 D(22)よりよく生きる喜び  
 「風に立つライオン」  
 B(7)礼儀  
 「出迎え三步、見送り七歩」  
 C(17)我が国の伝統と文化の尊重  
 「昔と今を結ぶ糸」  
 C(12)社会参画、公共の精神  
 「No charity, but a chance!」  
 C(14)家族愛、家庭生活の充実  
 「一冊のノート」  
 C(11)公正、公平、社会正義  
 「卒業文集最後の二行」  
 B(9)相互理解、寛容  
 「思いを伝えることの難しさ」  
 B(8)友情、信頼  
 「違うんだよ、健司」  
 C(18)国際理解、国際貢献  
 「命のトランジットピザ」  
 D(19)生命の尊さ  
 「エリカー奇跡のいのちー」  
 A(3)向上心、個性の伸長  
 「新しい夏のはじまり」

## 2 学期

- C(16)郷土の伝統と文化の尊重  
 「稲むらの火」余話  
 A(2)節度、節制  
 「ある朝のできごと」  
 B(9)相互理解、寛容  
 「言葉の向こうに」  
 D(19)生命の尊さ  
 「臓器ドナー」  
 A(5)真理の探究、創造  
 「iPS 細胞で難病を治したい」  
 C(10)遵法精神、公徳心  
 「二通の手紙」  
 C(11)公正、公平、社会正義  
 「命の大切さ」  
 A(1)自主、自律、自由と責任  
 「町内会デビュー」  
 C(12)社会参画、公共の精神  
 「自分・相手・周りの人」  
 B(6)思いやり、感謝  
 「塩むすび」  
 D(20)自然愛護  
 「『川端』のある暮らし」  
 D(21)感動、畏敬の念  
 「風景開眼」  
 B(8)友情、信頼  
 「コラのまねをした彼女を好きになった」  
 C(17)我が国の伝統と文化の尊重  
 「父は能楽師」

## 3 学期

- A(2)節度、節制  
 「独りを慎む」  
 A(1)自主、自律、自由と責任  
 「私も高校生」  
 C(10)遵法精神、公徳心  
 「アス・アボン・アタイム・イン・ジャパン」  
 C(12)社会参画、公共の精神  
 「公園に桜を」  
 C(18)国際理解、国際貢献  
 「本とベンで世界を変えよう」  
 C(13)勤労  
 「あるレジ打ちの女性」  
 D(22)よりよく生きる喜び  
 「世界を動かした美」  
 D(19)生命の尊さ  
 「希望」  
 C(15)よりよい学校生活、集団生活  
 「お別れ会」

# 総合的な学習の時間「和」

## この時間の見方・考え方

各教科等における見方・考え方を総合的に活用して、広範な事象を多様な角度から俯瞰して捉え、実社会・実生活の課題を探究し、自己の生き方を問い続けること

## この時間に取り組む内容

### 全体目標 和(輪)=(つながる) つどえ・きたえ・のびよ

- |                 |                  |
|-----------------|------------------|
| ①コミュニケーション能力を育む | ④環境に目を向ける意識を育む   |
| ②自主的な学習・生活態度を育む | ⑤自分をコントロールする力を育む |
| ③思いやりの心を育む      | ⑥自分を見つめる意識を育む    |

## 各学年の取り組み内容

### 全学年

#### 学びの自己調整

・クロームブックなどを利用し、各教科の知識を習得したり、習得した知識を活用し探求的な課題に挑戦する、自己の学びを調整しながら粘り強く学習に取り組む活動

#### 体育大会における応援合戦

・各教科で習得した知識や技能を活用した応援合戦の企画・練習や披露する機会を通して、生徒が自主的に社会や生活を創造する力を育む探求的活動

#### 美加の台学園祭における合唱コンクール

・音楽科で習得した知識や技能を活用した合唱の企画・練習や披露する機会を通して、クラス内のまとまり・クラス間のつながりを育む探求的活動

### 1年生

#### 1学期

野外活動

#### 2学期

応援合戦  
合唱コンクール  
ふるさと学

#### 3学期

スキー合宿

### 2年生

#### 1学期

職場体験プレゼンテーション

#### 2学期

応援合戦  
合唱コンクール

#### 3学期

平和学習ポスターセッション

### 3年生

#### 1学期

平和学習ポスターセッション

#### 2学期

応援合戦  
合唱コンクール  
進路相談

#### 3学期

面接練習

# 特別活動

## この活動の見方・考え方

各教科等の見方・考え方を総合的に働かせながら、自己及び集団や社会の問題を捉え、よりよい人間関係の形成、よりよい集団生活の構築や社会への参画及び自己の実現に向けた実践に結びつけること

## この活動に取り組む内容

### 学級活動

学級・学校における生活づくり  
学校生活と学習への適応  
自己の成長と健康安全  
キャリア形成と自己実現

### 生徒会活動

生徒会活動の計画や運営  
各種学校行事の企画運営  
ボランティア活動等の社会参画

### 学校行事

儀式的行事  
文化的行事  
健康安全・体育的行事  
旅行・集団宿泊的行事  
勤労生産・奉仕的行事

## 各学年の学習目標と主な行事

### 1年生

#### 目標

○中学生として、自覚と責任を持ち、何事にも積極的に挑戦する。  
○自他の個性を発見し、それを生かせるようにする。  
○仲間を思いやり、お互いを支え合える集団を作る。

#### 主な行事

##### 1学期

入学式  
校外学習  
避難訓練

##### 2学期

人権学習  
避難訓練

##### 3学期

進路学習  
スキー合宿

### 2年生

#### 目標

○中学生としての自覚と責任を持ち、自主的に考え、行動する力を身につける。  
○仲間を大切にし、お互いを支え合う集団をつくる。  
○現在や将来の生き方について、積極的に考える。

#### 主な行事

##### 1学期

食育学習  
避難訓練

##### 2学期

人権学習  
避難訓練  
校外学習

##### 3学期

進路学習  
スキー合宿

### 3年生

#### 目標

○自主的に考え、行動する力を身につける。  
○仲間を思いやり、お互いを支え合う集団をつくる。  
○幅広い知識を身につけ、自分をよく見詰め将来の進路を考える。

#### 主な行事

##### 1学期

人権学習  
避難訓練

##### 2学期

人権学習  
避難訓練  
修学旅行

##### 3学期

入学・入社試験  
卒業式

# 人権学習

## 目標

- 1.身近な問題を通して、基本的人権を尊重する態度を育む。
- 2.人権に関する問題を中心に、差別に対する認識を深め、「差別を見抜き、しない、許さない」態度を育む。
- 3.全ての教科等で一人ひとりの可能性を伸ばし、自己表現・学力課題の克服に努め、進路保障を徹底する。
- 4.人権教育に対する意識を高めるための研修や交流を大切にする。

## 1 年生

### 1 学期

仲間づくりⅠ…(学級づくりと校外学習)  
平和学習Ⅰ…(戦争の悲惨さを知る)

### 2 学期

障害者理解Ⅰ…(バリアフリーを考える)  
男女共生Ⅰ…(LGBTについて知る)

### 3 学期

部落問題Ⅰ…(身近な差別)  
国際理解Ⅰ…(在日外国人を知る)  
特別学習…(スキー合宿)

## 2 年生

### 1 学期

仲間づくりⅡ…(学級づくり)  
進路学習Ⅰ…(職場体験)  
障害者理解Ⅱ…(職業との関係を知る)  
部落問題Ⅱ…(職業との関係を知る)

### 2 学期

平和学習Ⅱ…(戦争について調べる)  
男女共生Ⅱ…(成長する心と体)

### 3 学期

平和学習Ⅲ…(大阪市内FW)

## 3 年生

### 1 学期

仲間づくりⅢ…(学級づくり)  
平和学習Ⅳ…(広島への修学旅行)  
進路学習Ⅱ…(さまざまな進路を認める)

### 2 学期

男女共生Ⅲ…(命の大切さとエイズ)  
部落問題Ⅲ…(部落問題の現状を知る)

### 3 学期

国際理解Ⅱ…(世界の中で生きる)  
人権学習のまとめ…  
(まわりの人と自分を大切にする)

## 各学年における人権教育の取り組み

人権課題	学 年		
	1	2	3
集団づくり 仲間づくり	校外学習の取り組み(オレンジ園) スキー合宿の取り組み	校外学習の取り組み(大阪平和フィールドワーク)	修学旅行の取り組み(広島平和フィールドワーク) 体育大会の取り組み
人権学習 心と体 いのち くらし	班がえの取り組み 人権学習(みーちゃんがお肉になる日)	班がえの取り組み	班がえの取り組み
部落問題学習	部落問題学習(識字問題から学ぶ)	部落問題学習(部落史から学ぶ)	部落問題の現状 基本的人権(様々な差別)(社会)
多文化共生 (国際理解)	JICA 講演会(美加の台学園祭)	大阪フィールドワークに関するポスターセッション JICA 講演会(美加の台学園祭)	広島平和フィールドワークに関するポスターセッション JICA 講演会
平和学習	平和新聞づくり	校外学習の取り組み(大阪平和フィールドワーク)	修学旅行の取り組み(広島平和フィールドワーク)
障がい者理解	視覚障害について	職業との関係を知る	よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築(技術)
男女共生 性教育	性教育(自分のこと)	性教育(他人との付き合い方)	性教育(赤ちゃんとのふれあいから学ぶ)
その他 インターネットによる 人権啓発 活動 他	「農・食・命」の取り組み(大阪府立農芸高校)	職場体験学習の取り組み 校外学習(「農・食・命」の取り組み)	情報に関する技術(技術)



# キャリア学習

## 目標

生徒自らが自分の個性を発見し、現在及び将来の生き方について、積極的に考えていくことができる能力や態度を育む。

## 1年生

### 将来の夢と自分の個性・特性

- ・自分自身の人生に対して、目的意識を持って計画的に進んでいけるような人生設計能力を育む。
- ・自分の得手不得手など個性や特性を知り、得意なところを生かす方法や苦手を克服する方法を知る。

## 2年生

### 職場体験と人生設計

- ・仕事の厳しさを体験し、職業や自己の適性について考える。また、人とのつながりを通して、社会性を養い、集団の中での自分の存在を認識する。
- ・職場体験の経験をもとに、卒業後の自分の生き方について考える。

## 3年生

### 進路と生涯学習

- ・自分の適性にあった進路先を選ぶよう考える。また、受験など大切な時期の心身の健康、受験の方法や態度について理解する。
- ・卒業後の生活について新しい環境への抱負と決意を固め、生涯にわたって学び続ける態度を育む。

## 主権者教育(民主主義など社会のしくみについての教育)の取り組み

教科		1年	2年	3年
教科との関連	国語	話しの構成を工夫しよう 情報を集めよう 情報を読み取ろう 情報を引用しよう 根拠を示して説明しよう	メディアを比べよう 立場を尊重して話し合おう 根拠の適切さを考えて書こう 問いを立てながら聞く 言葉を比べよう	評価しながら聞く 説得力のある構成を考えよう 聞き上手になろう 合意形成に向けて話し合おう 報道文を比較して読もう
	社会	私が住む世界 社会のようすと人々の暮らし 私たちが住む日本	世界から見た日本の姿 日本の地方の様子 近代国家へのあゆみ 自由民権運動と国会開設	人間の尊重と日本国憲法 現代の民主主義 国の政治としくみ 私たちの暮らしと経済 国民生活と福祉
	家庭	衣食住の生活	消費生活・環境	家族・家庭生活
	道徳	つながりをもち住みよい社会に	勤労や奉仕を通して社会に貢献する	正義を重んじ公正・公平な社会を
	総合的な学習の時間	中学生になって	職場体験学習	平和学習 卒業後の進路
特別活動	学級活動	班長会議、係活動	班長会議、係活動	班長会議、係活動
	学校行事	校外学習、宿泊学習、修学旅行、美加の台学園祭、入学式、始業式、終業式、卒業式		
	生徒会活動	クラブ活動、委員会活動(生徒会選挙)、募金活動、連合生徒会		
	活用資料	各教科の教科書・冊子「夢や志をはぐくむ教育」 資料「民主主義など社会のしくみについての教育」		